

豊島区立学校教員の男女平等意識に関する調査

報 告 書

(平成21年10月実施)

豊 島 区

目 次

I	調査実施の概要	1
1	調査目的	1
2	調査内容	1
3	調査設計	1
4	回収結果	1
5	報告書の見方	1
6	平成21年職員意識調査との比較について	1
7	回答者の属性	2
II	調査結果のあらまし	5
1	一般的な男女平等について	6
2	仕事や家庭をめぐる考え方について	11
3	男女共同参画社会に関する施策について	22
III	調査票および単純集計結果	33

平成22年3月4日 作成

I 調査実施の概要

1 調査目的

豊島区立学校教員の男女平等・男女共同参画社会に関する意識及び職場の状況を把握し、今後の施策推進の基礎資料とする。

2 調査内容

- (1) 一般的な男女平等について
- (2) 仕事や家庭をめぐる考え方について
- (3) 男女共同参画社会に関する施策について

3 調査設計

- (1) 調査対象者 小学校10校・中学校4校
- (2) 抽出数 256人
- (3) 調査方法 配布：学校長から対象者へ配布
回収：対象者から学校長へ提出、取りまとめのうえ、交換便で回収
- (4) 調査時期 平成21年10月1日～10月14日
- (5) 集計 教育委員会事務局・教育総務部教育指導課
総務部男女平等推進センター

4 回収結果

- (1) 調査対象数 256人
- (2) 有効回答数 192人
- (3) 有効回収率 75.0%

5 報告書の見方

- (1) この報告書の中の数値は、原則として回答者総数(女性110人、男性82人、全体的場合は192人)を100%とした数値である。
- (2) 図表中のnとは回答者総数(または該当質問での該当者数)のことである。
- (3) 集計は小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (4) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基礎として算出した。したがって複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。

6 平成21年職員意識調査との比較について

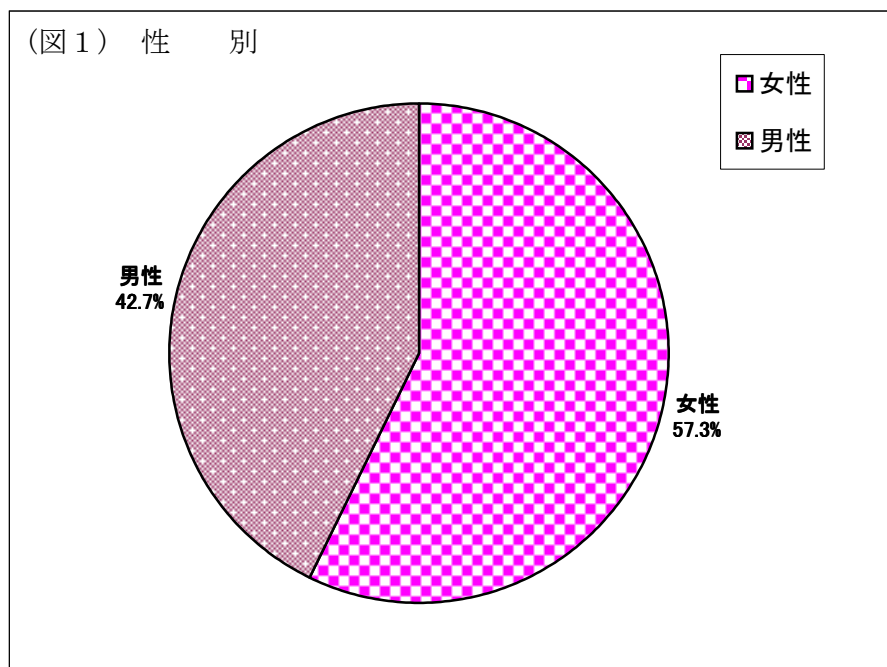
平成21年職員意識調査と内容を同じくする設問については、教員の意識動向をとらえるために比較を行った。

7 回答者の属性

(1) 性別…女性6割、男性4割

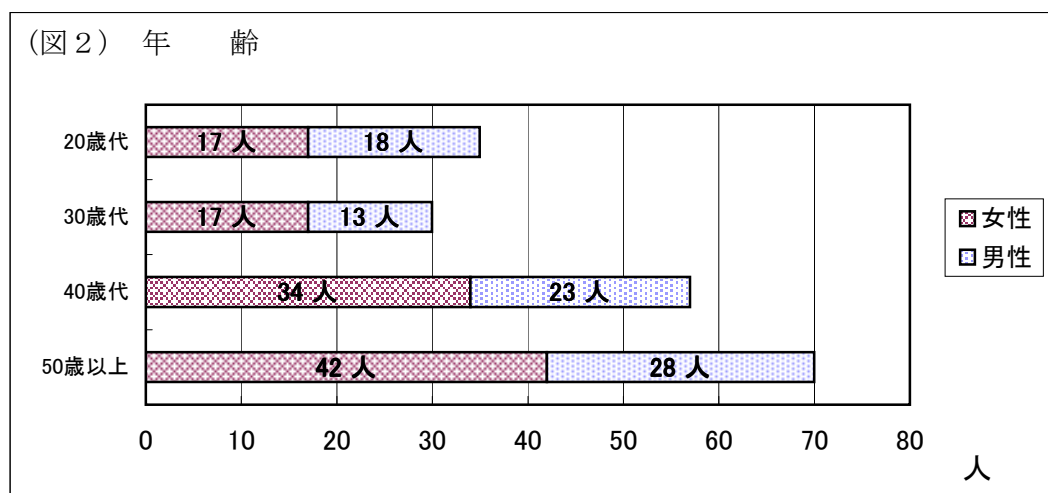
回答者192名のうち、女性57.3%、男性は42.7%となっています。

	計
女性	110 57.3%
男性	82 42.7%
総計	192 100.0%

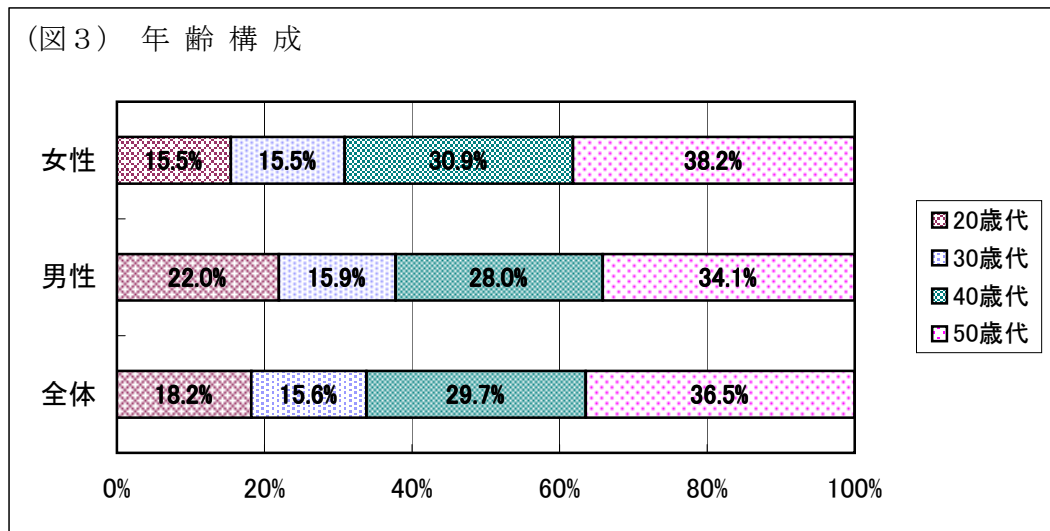


(2) 回答者年齢…40歳未満は約3割強。女性・男性共、40歳代・50歳代が多い。

	女性	男性	全体
20歳代	17 15.5%	18 22.0%	35 18.2%
30歳代	17 15.5%	13 15.9%	30 15.6%
40歳代	34 30.9%	23 28.0%	57 29.7%
50歳以上	42 38.2%	28 34.1%	70 36.5%
総計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%



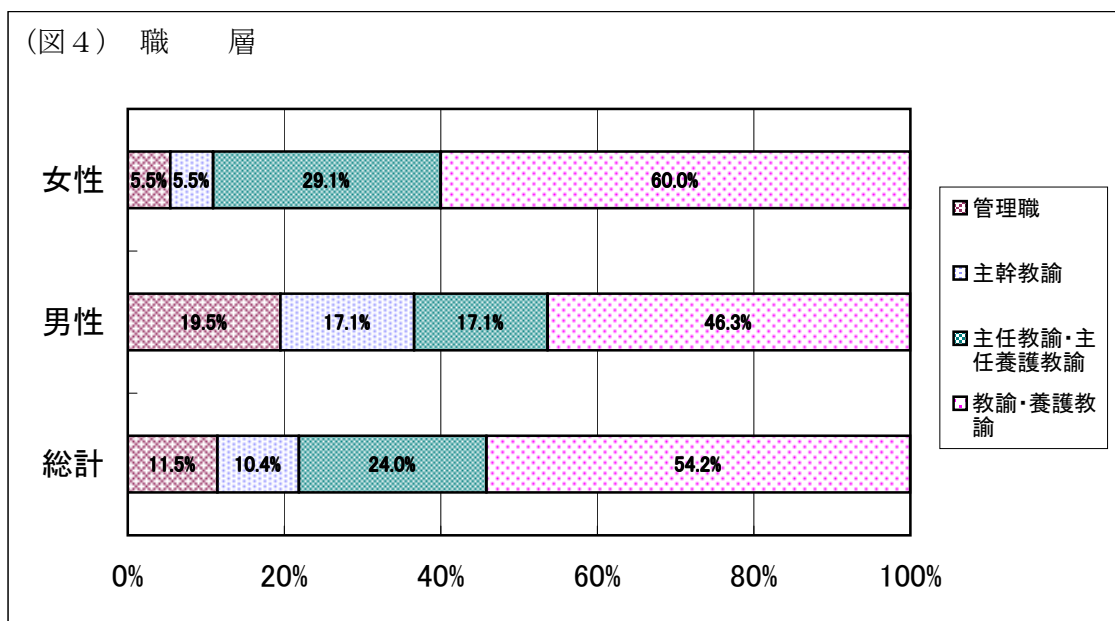
(図3) 年齢構成



(3) 回答者職層…女性は60.0%が教諭・養護教諭

	女性	男性	総計
管理職	6 5.5%	16 19.5%	22 11.5%
主幹教諭	6 5.5%	14 17.1%	20 10.4%
主任教諭・主任養護教諭	32 29.1%	14 17.1%	46 24.0%
教諭・養護教諭	66 60.0%	38 46.3%	104 54.2%
総計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%

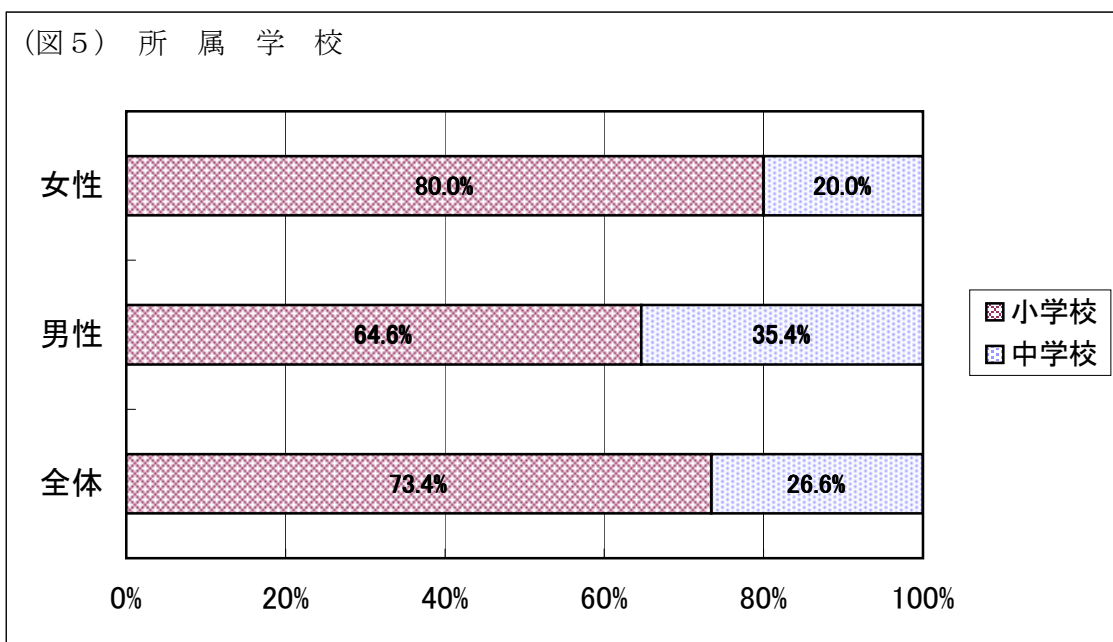
(図4) 職層



(4) 所属学校

	女性	男性	全体
小学校	88 80.0%	53 64.6%	141 73.4%
中学校	22 20.0%	29 35.4%	51 26.6%
総計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%

(図5) 所属学校



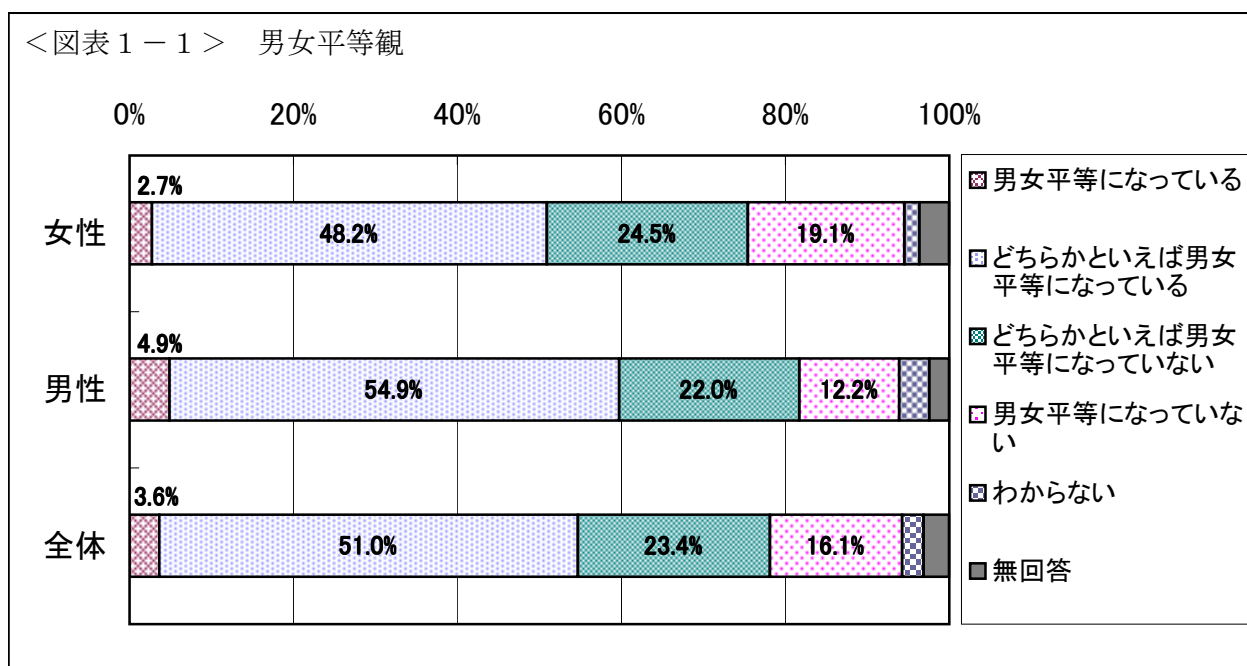
Ⅱ 調査結果のあらまし

《 1 一般的な男女平等について 》

問1 あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。(○は1つ)

	女性	男性	全体
男女平等になっている	3 2.7%	4 4.9%	7 3.6%
どちらかといえば男女平等になっている	53 48.2%	45 54.9%	98 51.0%
どちらかといえば男女平等になっていない	27 24.5%	18 22.0%	45 23.4%
男女平等になっていない	21 19.1%	10 12.2%	31 16.1%
わからない	2 1.8%	3 3.7%	5 2.6%
無回答	4 3.6%	2 2.4%	6 3.1%
総計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%

女性 n = 110
男性 n = 82
全体 n = 192



「男女平等になっている」と「どちらかといえば男女平等になっている」を合わせた割合は女性で50.9%であるのに対し、男性は59.8%と8.9ポイントくなっています。

また、職員意識調査との比較においては、女性は教員意識調査(50.9%)、職員意識調査(28.4%)と22.5ポイント、男性は教員意識調査(59.8%)、職員意識調査(41.9%)と17.9ポイント教員の方が高くなっています。

「男女平等になっていない」「どちらかといえば男女平等になっていない」をあわせた割合は女性で43.6%であるのに対し、男性は34.1%と9.5ポイント低くなっています。

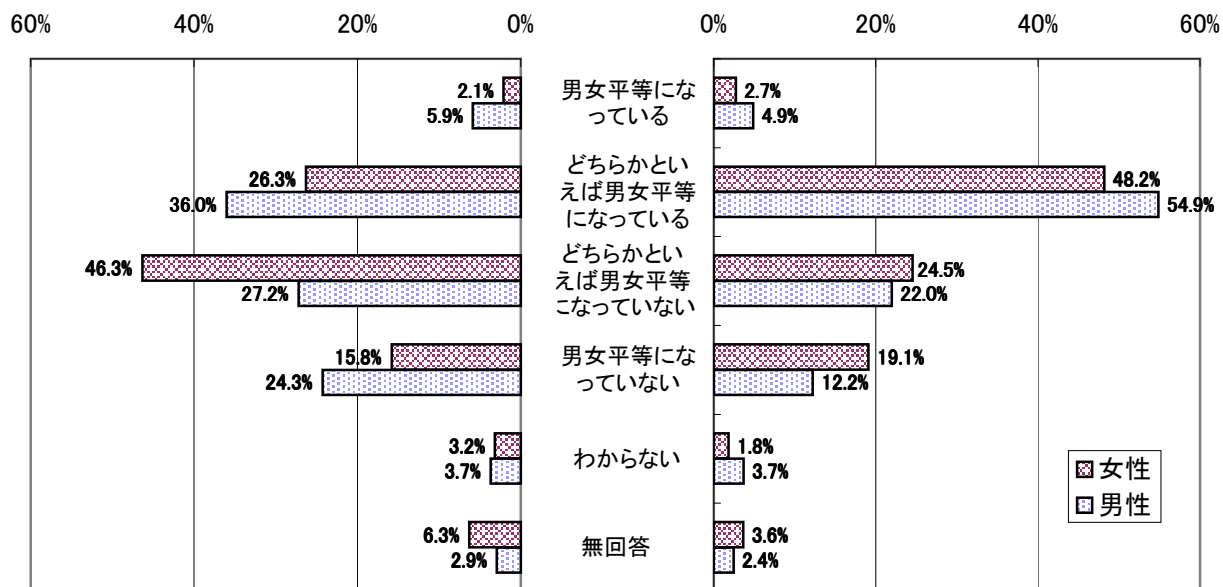
また、職員意識調査との比較において、女性は教員意識調査(43.6%)、職員意識調査(62.1%)と18.5ポイント低く、男性は教員意識調査(34.1%)、職員意識調査(51.5%)と17.4ポイント教員の方が低くなっています。

<参考> 職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表1-2>

平成21年職員意識調査
(女性n=190 男性n=136)

平成21年教員意識調査
(女性n=110 男性n= 82)



問2 では、次の a～g の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。各分野ごとに、1～6の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性n=110 男性n= 82 全体n=192	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
a 家庭の中で	女性	13.6%	51.8%	29.1%	1.8%	0.0%	3.6%	0.0%
	男性	3.7%	32.9%	42.7%	9.8%	1.2%	8.5%	1.2%
	全体	9.4%	43.8%	34.9%	5.2%	0.5%	5.7%	0.5%
b 職場の中で(学校教育の場で)	女性	4.5%	23.6%	59.1%	6.4%	0.0%	4.5%	1.8%
	男性	1.2%	13.4%	58.5%	22.0%	2.4%	1.2%	1.2%
	全体	3.1%	19.3%	58.9%	13.0%	1.0%	3.1%	1.6%
c 政治の場で	女性	30.0%	52.7%	7.3%	3.6%	0.0%	4.5%	1.8%
	男性	12.2%	52.4%	22.0%	1.2%	0.0%	8.5%	3.7%
	全体	22.4%	52.6%	13.5%	2.6%	0.0%	6.3%	2.6%
d 制度や法律の上で	女性	8.2%	45.5%	31.8%	5.5%	0.0%	8.2%	0.9%
	男性	3.7%	23.2%	53.7%	8.5%	1.2%	8.5%	1.2%
	全体	6.3%	35.9%	41.1%	6.8%	0.5%	8.3%	1.0%
e 社会通念・習慣・しきたりで	女性	20.9%	65.5%	7.3%	2.7%	0.0%	2.7%	0.9%
	男性	14.6%	52.4%	20.7%	6.1%	0.0%	4.9%	1.2%
	全体	18.2%	59.9%	13.0%	4.2%	0.0%	3.6%	1.0%
f 地域活動の場で	女性	11.8%	50.0%	21.8%	4.5%	0.0%	10.9%	0.9%
	男性	1.2%	31.7%	46.3%	7.3%	0.0%	12.2%	1.2%
	全体	7.3%	42.2%	32.3%	5.7%	0.0%	11.5%	1.0%

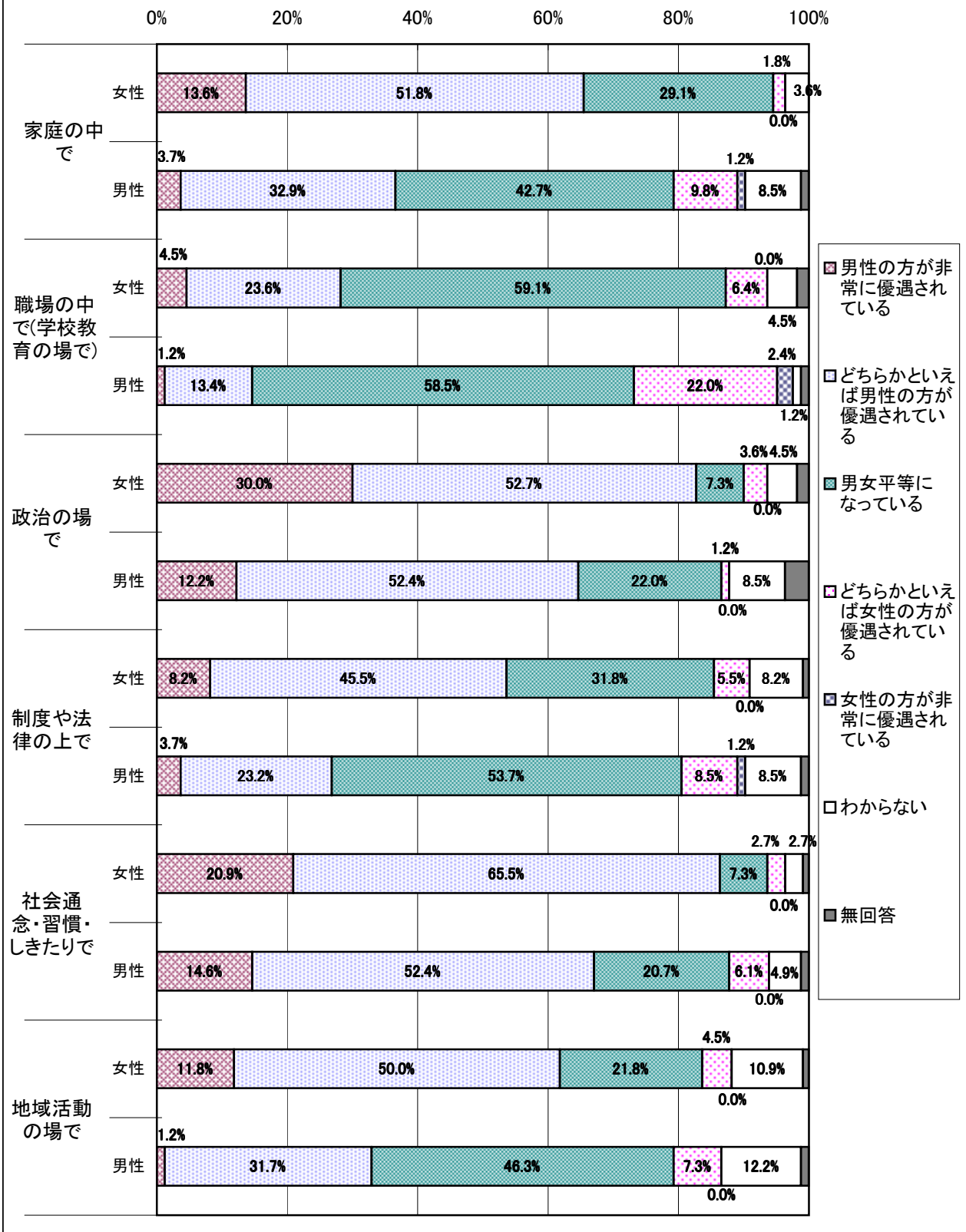
各分野の男女平等の実現度については、「男性の方が非常に優遇されている」・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』は、「社会通念・習慣・しきたりで」が78.1%と最も高く、「政治の場で」（75.0%）、「家庭の中で」（53.2%）と続いています。

一方、「平等になっている」は、「職場の中で（学校教育の場で）」が58.9%と最も高く、「制度や法律の上で」（41.1%）、「家庭の中で」（34.9%）と続いています。

また、「女性の方が非常に優遇されている」・「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている』は、「職場の中で（学校教育の場で）」が14.0%と最も高く、「制度や法律の上で」（7.3%）、「家庭の中で」・「地域活動の場で」（5.7%）と続いています。

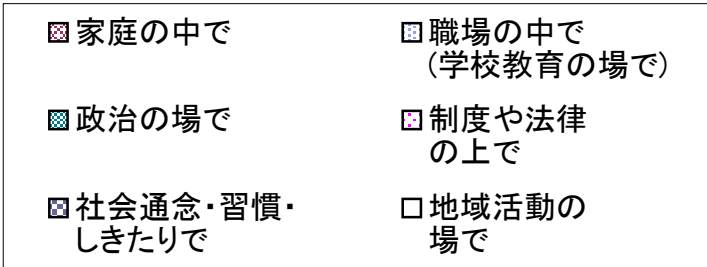
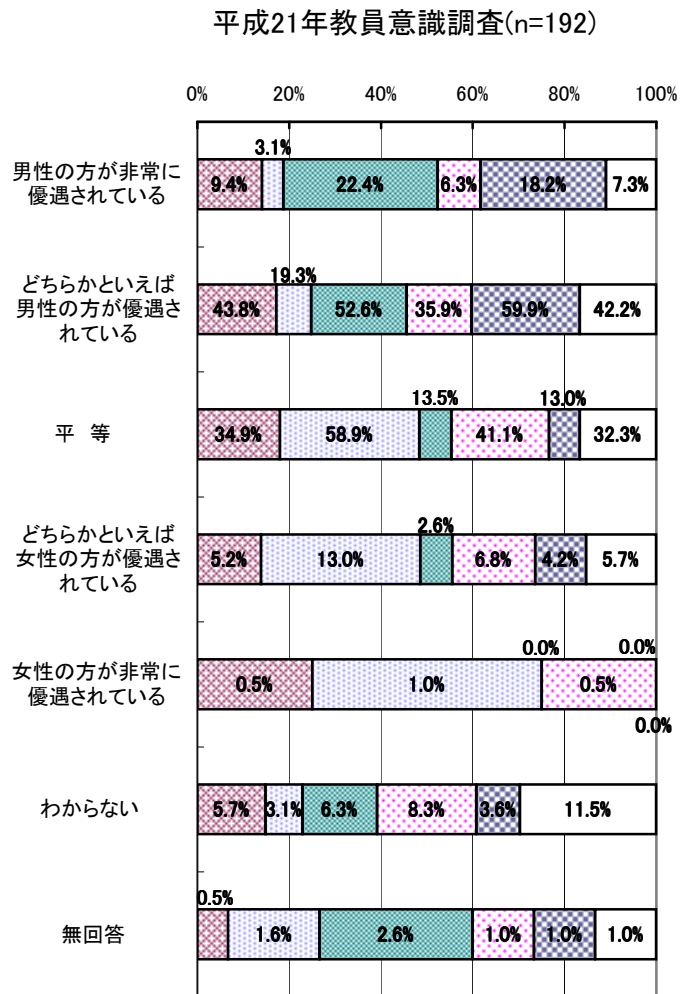
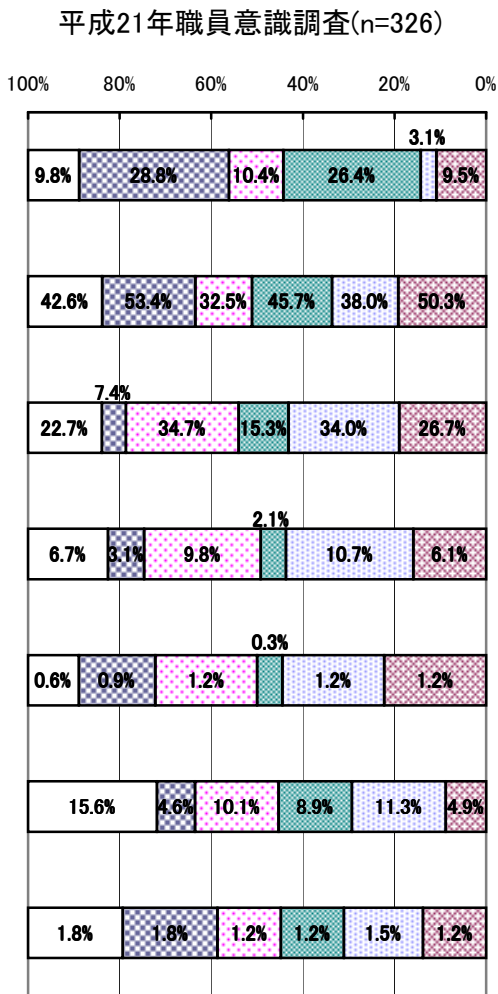
職員意識調査との比較においては、職場の中で「平等になっている」が教員意識調査では58.9%、職員意識調査では34.0%と24.9ポイント高いが、その他は女性・男性とも大きな差異はみられません。

<図表1-3> 男女平等の実現度



<参考> 職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表1-4>

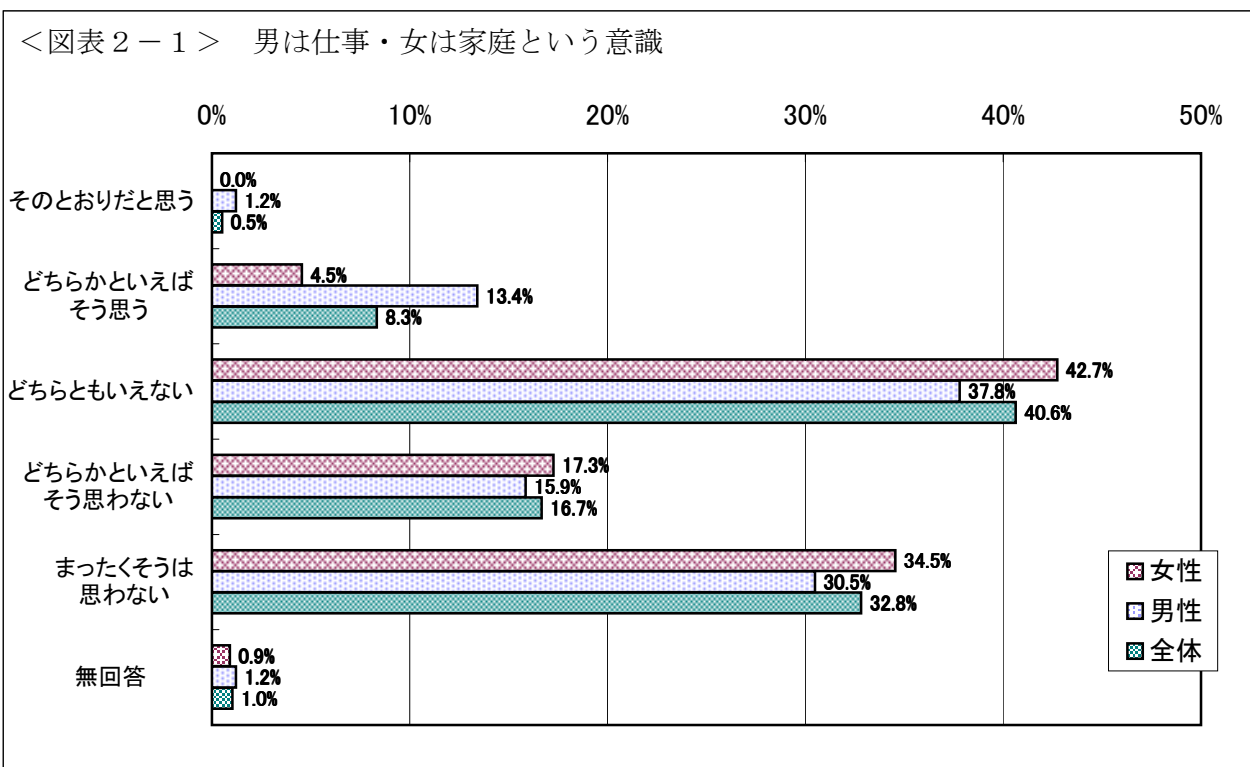


《 2 仕事や家庭をめぐる考え方について 》

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から選んでください。（○は1つ）

	女性	男性	全体
そのとおりだと思う	0 0.0%	1 1.2%	1 0.5%
どちらかといえばそう思う	5 4.5%	11 13.4%	16 8.3%
どちらともいえない	47 42.7%	31 37.8%	78 40.6%
どちらかといえばそう思わない	19 17.3%	13 15.9%	32 16.7%
まったくそうは思わない	38 34.5%	25 30.5%	63 32.8%
無回答	1 0.9%	1 1.2%	2 1.0%
総計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%

女性 n = 110
男性 n = 82
全体 n = 192



男は仕事、女は家庭という考え方については、「どちらともいえない」（40.6%）と最も高く、「まったくそうは思わない」（32.8%）「どちらかといえばそう思わない」が16.7%と続いています。

また、「まったくそうは思わない」・「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が49.5%、「そのとおりだと思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が8.8%となっています。

女性で『そう思わない』が51.8%と、男性（46.4%）より5.4ポイント高くなっ

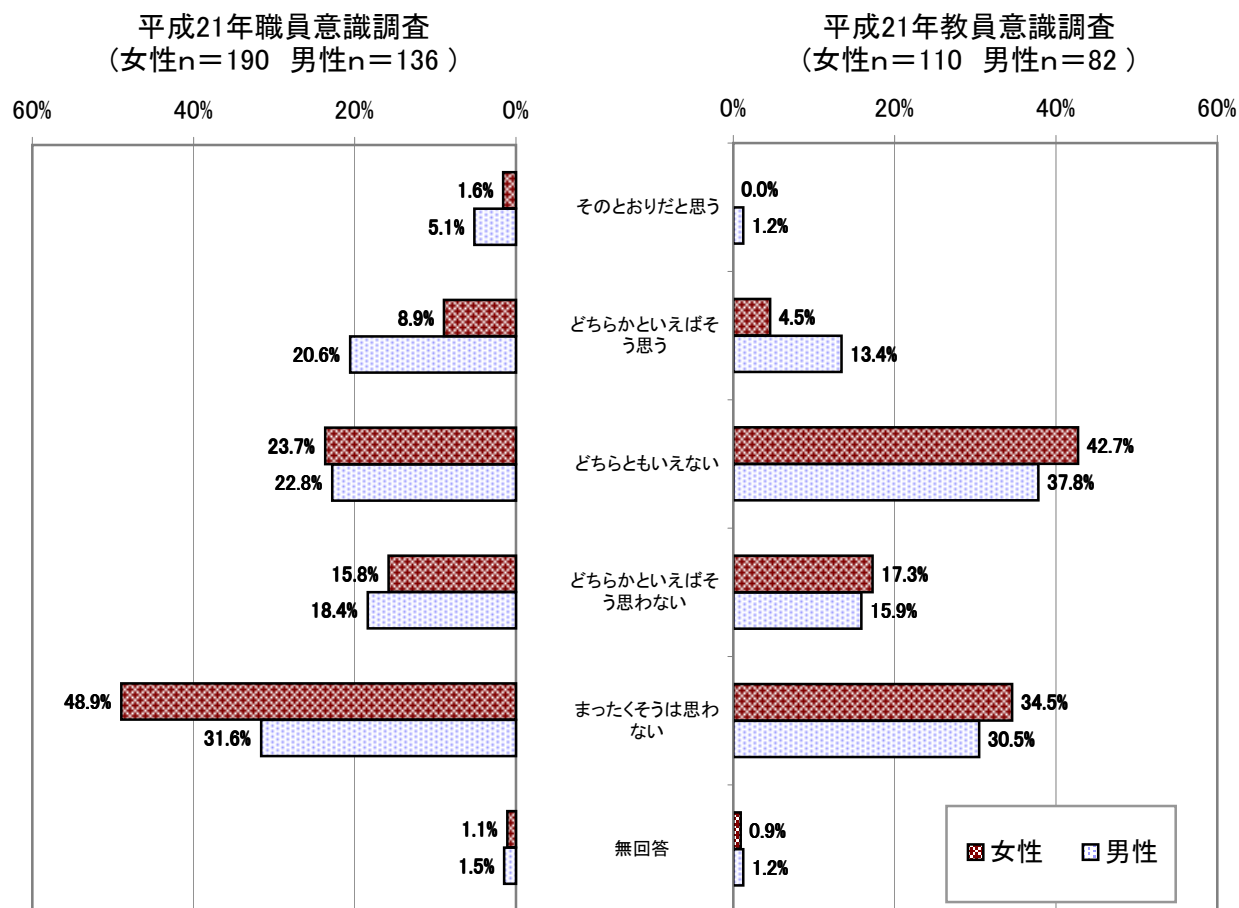
ています。

一方、男性で『そう思う』が14.6%と、女性（4.5%）より10.1ポイント高くなっています。

職員意識調査と比較すると、「まったくそうは思わない」・「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が教員意識調査（49.5%）であり、職員意識調査（58.6%）の方が9.1ポイント高くなっています。

<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表2-2>



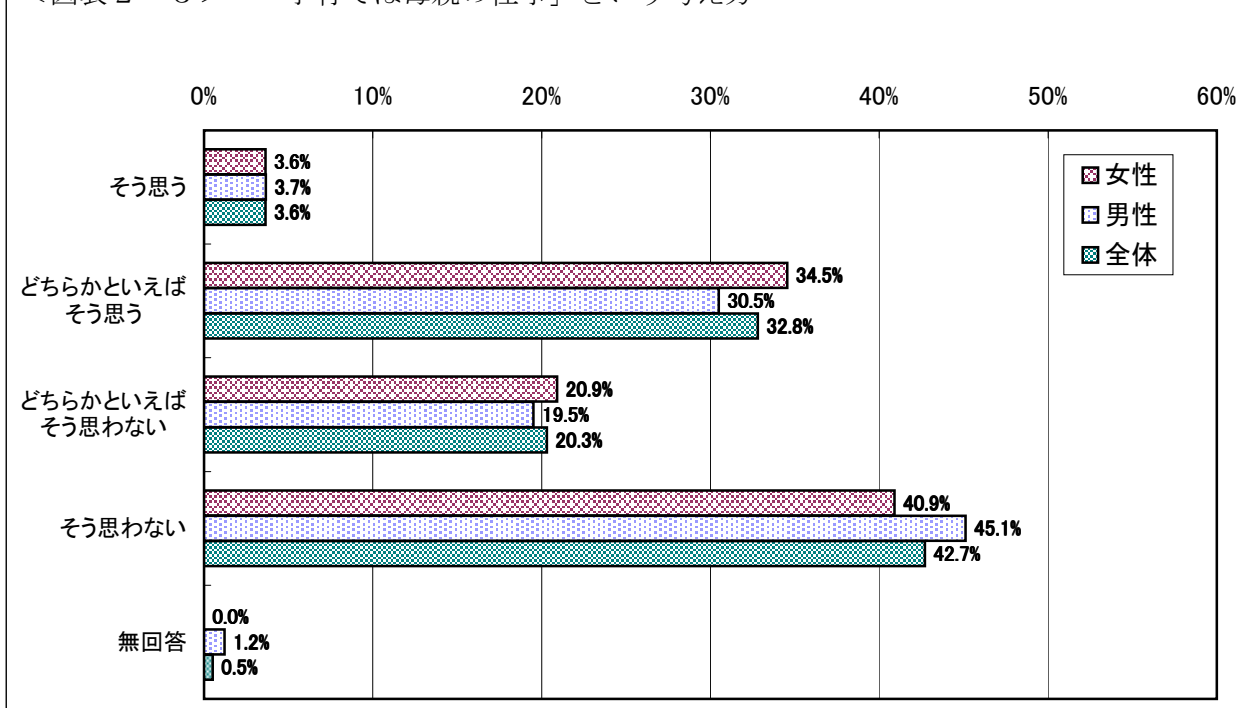
問4 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方がありますが、あなたは
どう思いますか。それぞれ当てはまるものを、1～4の中から選んでください。（○はそれぞ
れ1つ）

問4 a 「子育ては母親の仕事」という考え方

	女性	男性	全体
そう思う	4 3.6%	3 3.7%	7 3.6%
どちらかといえばそう思う	38 34.5%	25 30.5%	63 32.8%
どちらかといえばそう思わない	23 20.9%	16 19.5%	39 20.3%
そう思わない	45 40.9%	37 45.1%	82 42.7%
無回答	0 0.0%	1 1.2%	1 0.5%
総計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%

女性 n = 110
男性 n = 82
全体 n = 192

<図表2-3> 「子育ては母親の仕事」という考え方



「子育ては母親の仕事」という考え方については、「そう思わない」が42.7%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」（32.8%）、「どちらかといえばそう思わない」（20.3%）となっています。

また、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が36.4%、「そう思わない」・「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が63.0%となっています。

女性で「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が38.1%、男性（34.2%）より3.9ポイント高くなっています。

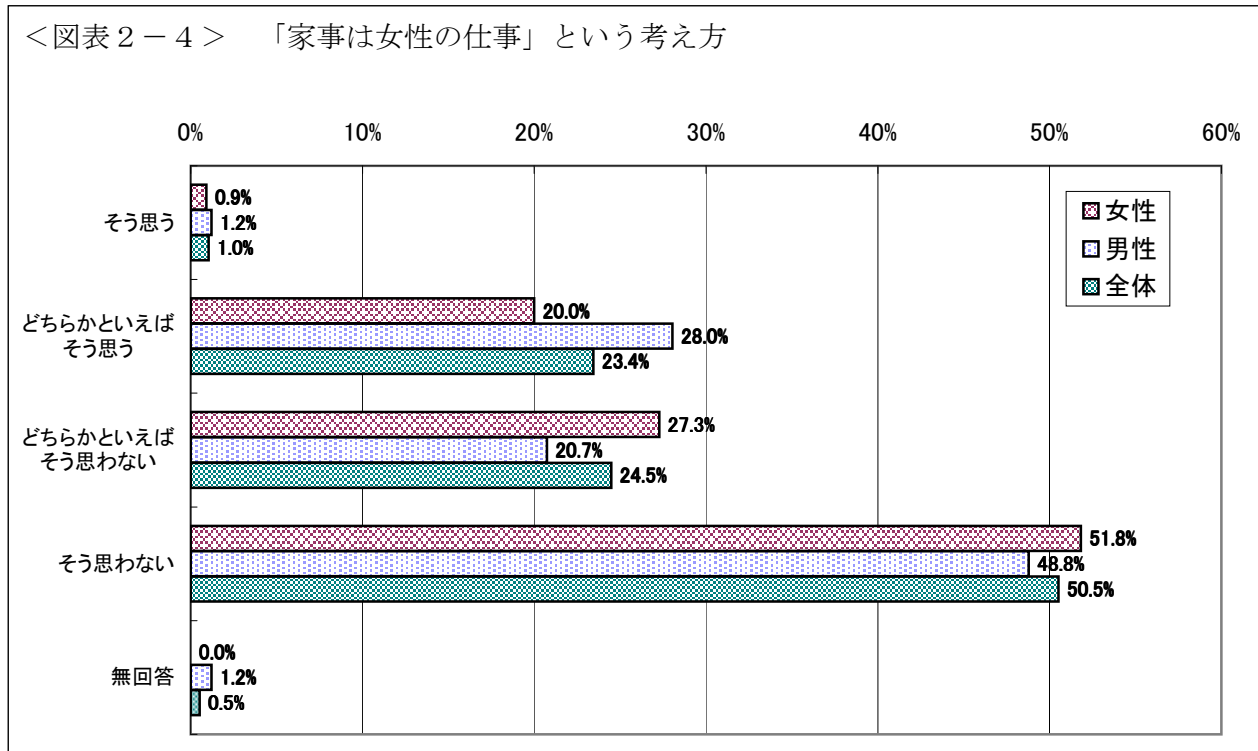
職員意識調査と比べると、全体的に同様の傾向で、大きな差異は見られません。

問4 b 「家事は女性の仕事」という考え方

	女性	男性	全体
そう思う	1 0.9%	1 1.2%	2 1.0%
どちらかといえばそう思う	22 20.0%	23 28.0%	45 23.4%
どちらかといえばそう思わない	30 27.3%	17 20.7%	47 24.5%
そう思わない	57 51.8%	40 48.8%	97 50.5%
無回答	0 0.0%	1 1.2%	1 0.5%
総計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%

女性 n = 110
男性 n = 82
全体 n = 192

<図表2-4> 「家事は女性の仕事」という考え方



「家事は女性の仕事」という考え方については、「そう思わない」が50.5%と最も高く、「どちらかというと思わない」(24.5%)、「どちらかといえばそう思う」(23.4%)と続いています。

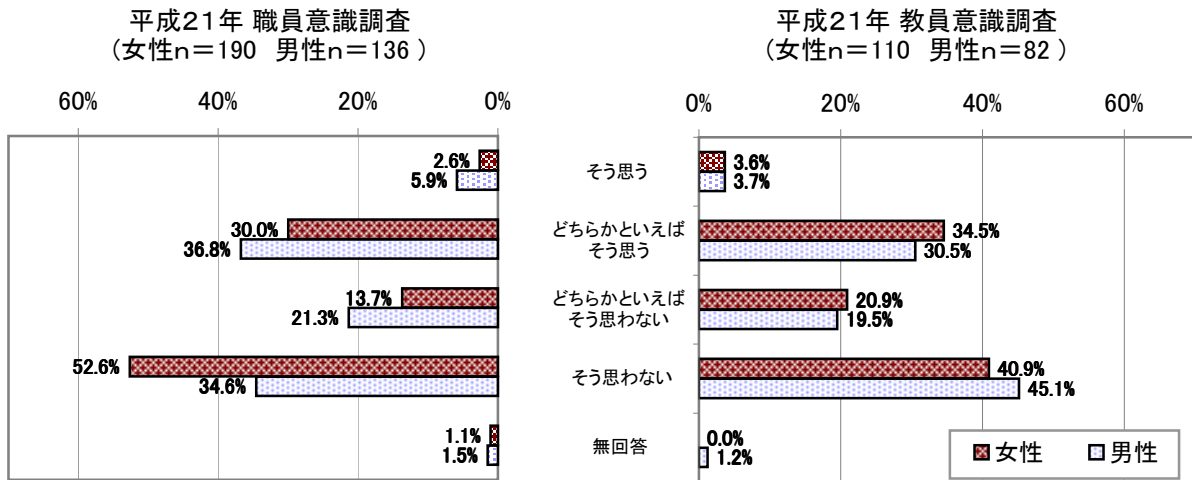
また、「そう思わない」・「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が75.0%、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が24.4%となっています。

女性で「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が(20.9%)と、男性(29.3%)より8.4ポイント低くなっています。

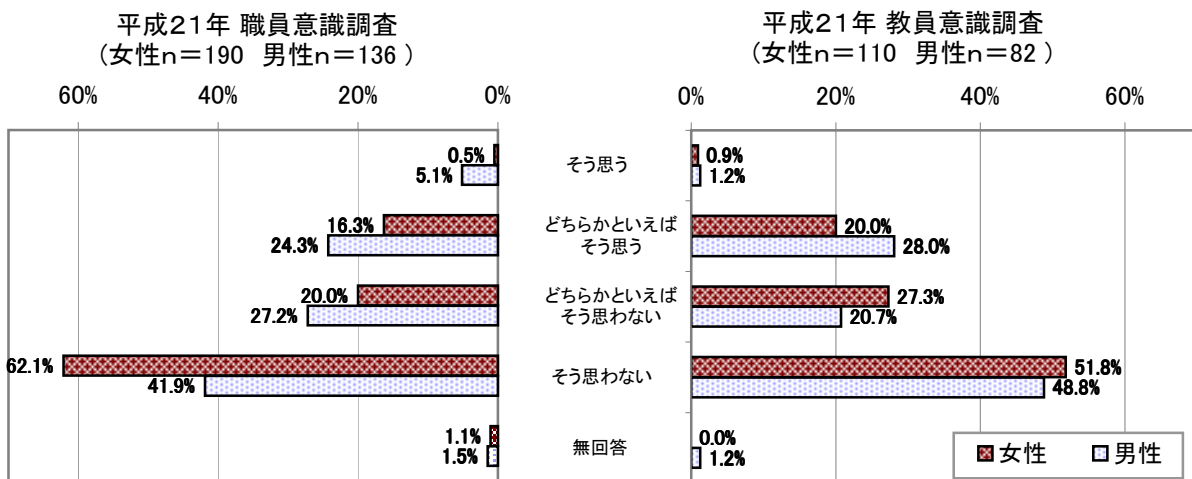
職員意識調査と比べると、全体的に同様の傾向で、大きな差異は見られません。

<参考> 職員意識調査・教員意識調査との比較

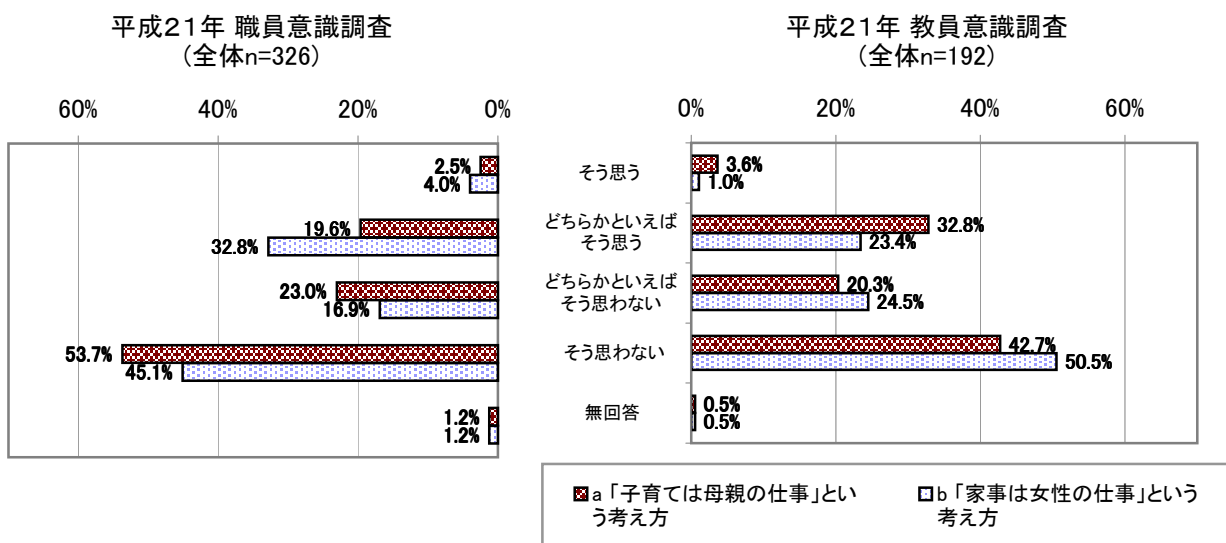
<図表2-5> 「子育ては母親の仕事」という考え方



<図表2-6> 「家事は女性の仕事」という考え方



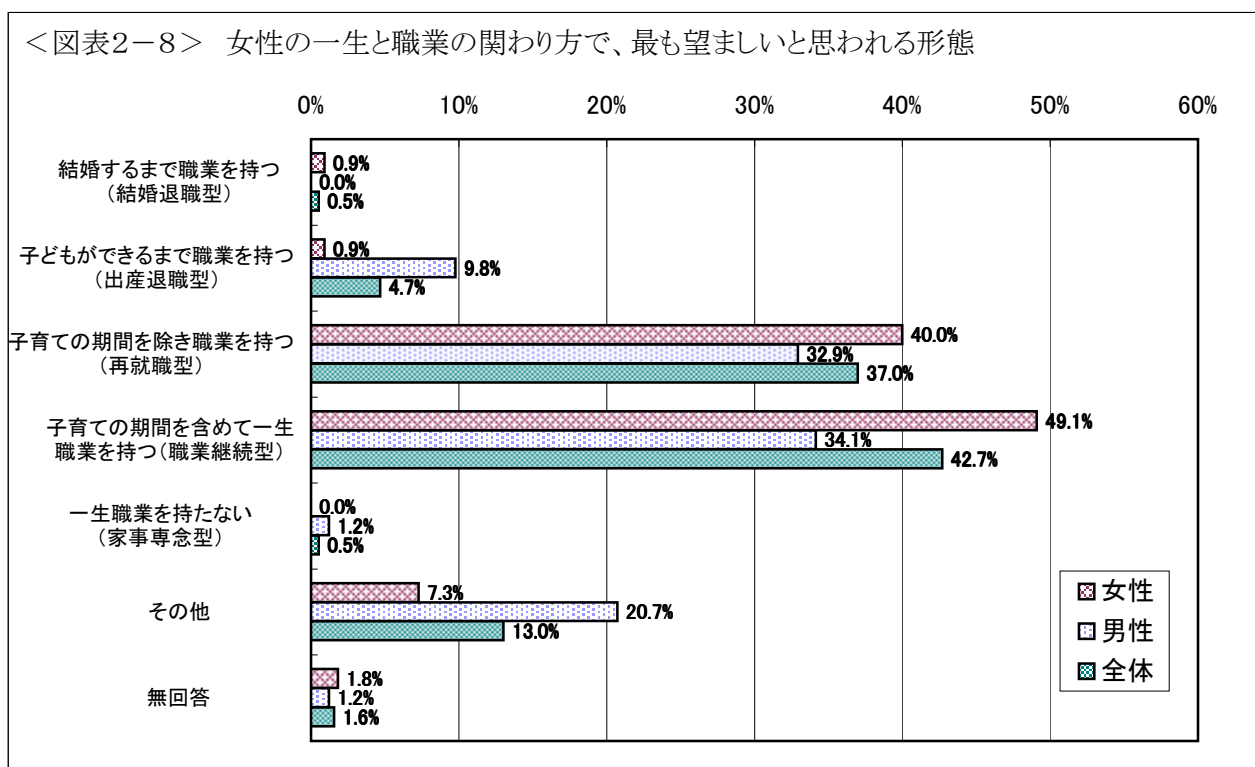
<図表2-7> 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方(全体比較)



問5 女性の一生と職業の関わり方で、あなたが最も望ましいと思われる形態はどれにあたりますか。(〇は1つ)

	女性	男性	全体
結婚するまで職業を持つ(結婚退職型)	1 0.9%	0 0.0%	1 0.5%
子どもができるまで職業を持つ(出産退職型)	1 0.9%	8 9.8%	9 4.7%
子育ての期間を除き職業を持つ(再就職型)	44 40.0%	27 32.9%	71 37.0%
子育ての期間を含めて一生職業を持つ(職業継続型)	54 49.1%	28 34.1%	82 42.7%
一生職業を持たない(家事専念型)	0 0.0%	1 1.2%	1 0.5%
その他	8 7.3%	17 20.7%	25 13.0%
無回答	2 1.8%	1 1.2%	3 1.6%
総計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%

女性 n = 110
男性 n = 82
全体 n = 192



女性の一生と職業の関わり方で、最も望ましいと思われる形態は「子育ての期間を含めて一生職業を持つ(職業継続型)」(女性49.1%、男性34.1%)が最も高く、「子育ての期間を除き職業を持つ(再就職型)」(女性40.0%、男性32.9%)が、高くなっています。

問6 あなたは「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について、どのような状況が理想だと考えますか。また、現実はどうですか。次の中から選んでください。

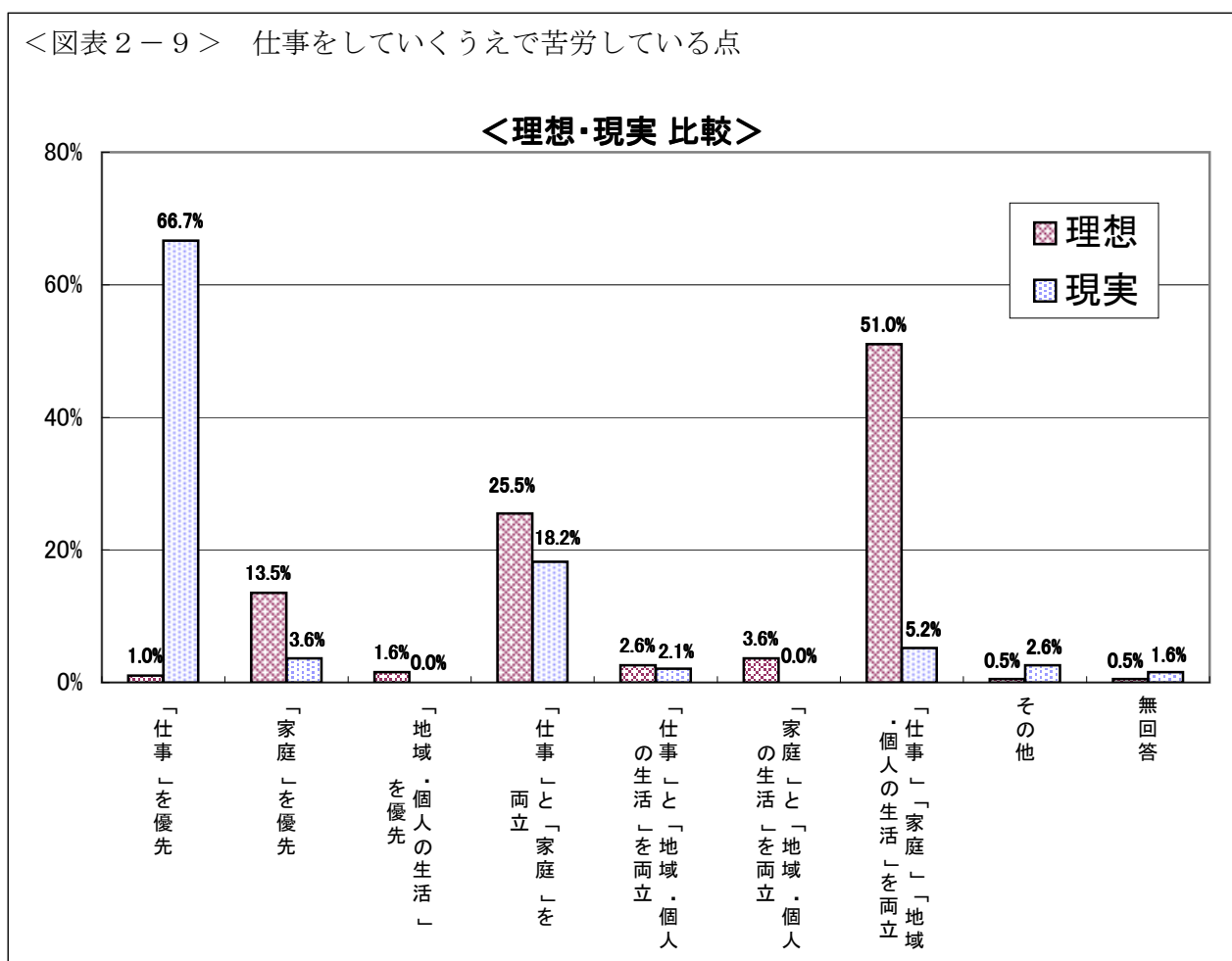
	理 想			現 実		
	女性	男性	全体	女性	男性	全体
「仕事」を優先	0 0.0%	2 2.4%	2 1.0%	72 65.5%	56 68.3%	128 66.7%
「家庭」を優先	18 16.4%	8 9.8%	26 13.5%	5 4.5%	2 2.4%	7 3.6%
「地域・個人の生活」を優先	2 1.8%	1 1.2%	3 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
「仕事」と「家庭」を両立	21 19.1%	28 34.1%	49 25.5%	20 18.2%	15 18.3%	35 18.2%
「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	1 0.9%	4 4.9%	5 2.6%	2 1.8%	2 2.4%	4 2.1%
「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	5 4.5%	2 2.4%	7 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	62 56.4%	36 43.9%	98 51.0%	7 6.4%	3 3.7%	10 5.2%
その他	0 0.0%	1 1.2%	1 0.5%	2 1.8%	3 3.7%	5 2.6%
無回答	1 0.9%	0 0.0%	1 0.5%	2 1.8%	1 1.2%	3 1.6%
総 計	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%	110 100.0%	82 100.0%	192 100.0%

女性 n = 110

男性 n = 82

全体 n = 192

<図表2-9> 仕事をしていくうえで苦労している点



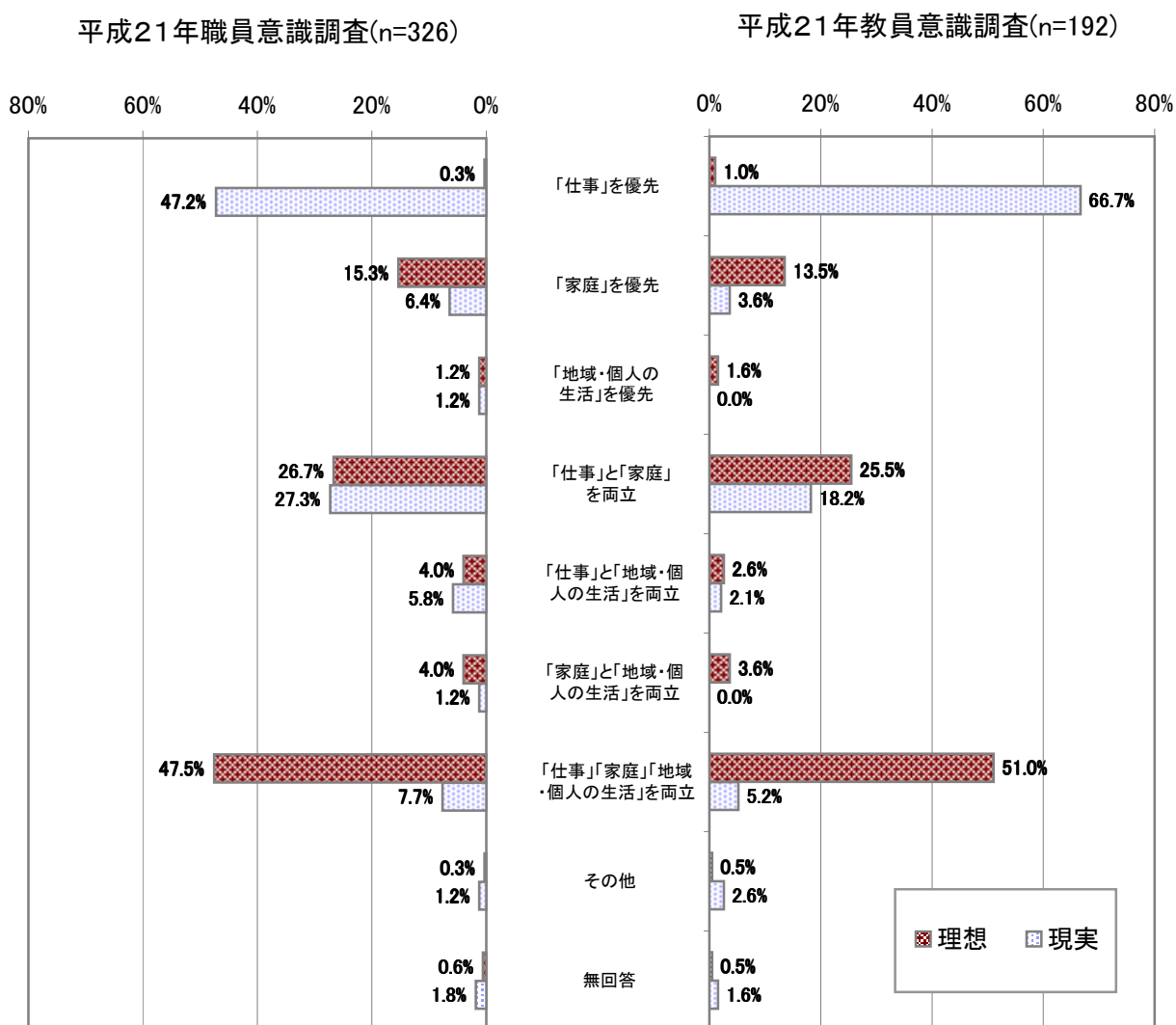
◇理想では、『「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立』が全体で見ると51.0%を占め、次に『「仕事」と「家庭」を両立』が25.5%と続いています。性別でも女性、男性とも同様の傾向が見られます。

◇現実では、『「仕事」を優先』が全体で見ると66.7%を占め、次に『「仕事」と「家庭」を両立』が18.2%と続いています。性別でも女性、男性とも同様の傾向が見られます。

職員意識調査と比較してみても同様の傾向が見られます。

<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表2-10>



問7 社会的に配偶者（事実婚や離婚後も含む）への暴力（DV）が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。次のa～lごとに、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

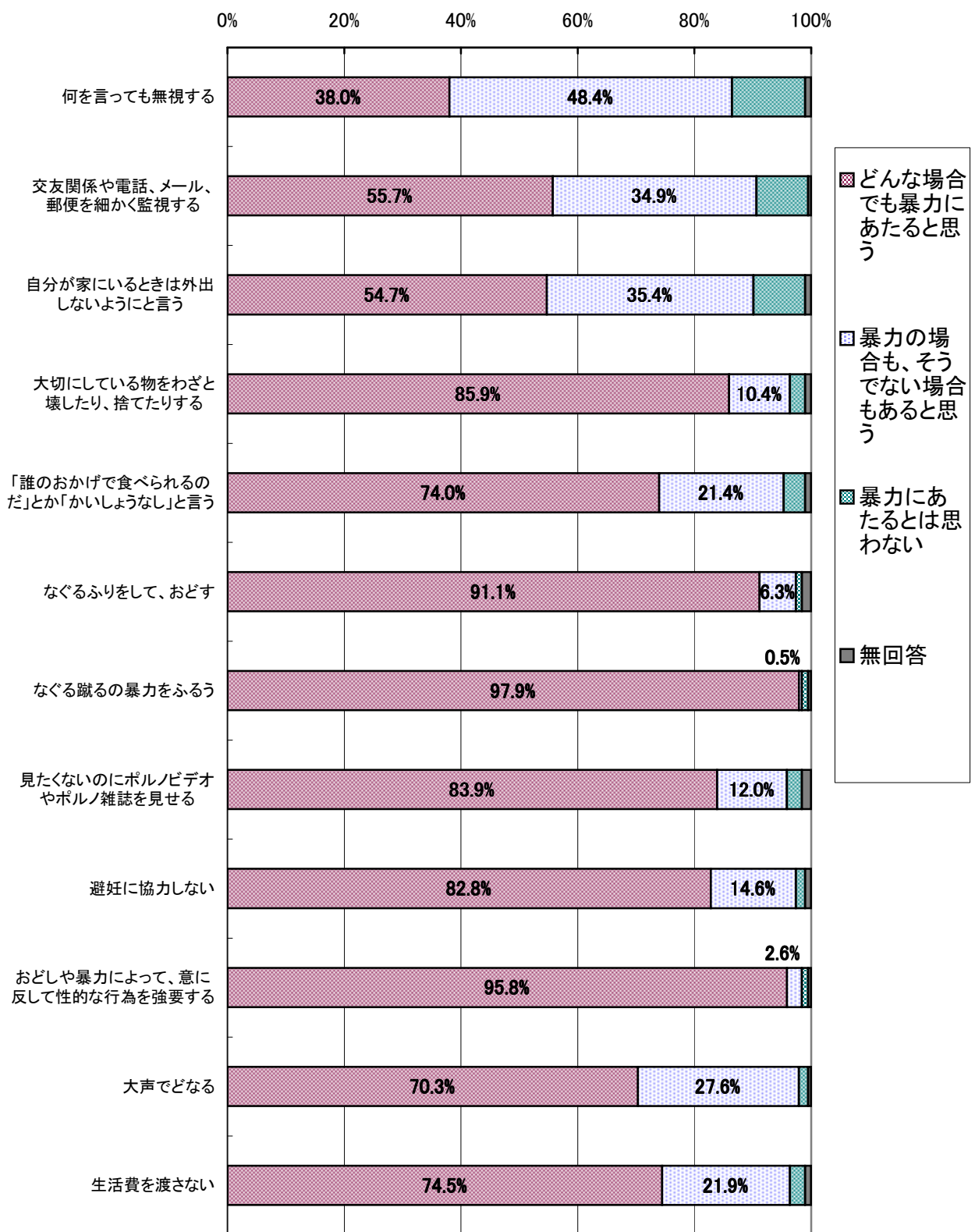
	女性n=110 男性n= 82 全体n=192	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
a 何を言っても無視する	女性	36.4%	51.8%	10.0%	1.8%
	男性	40.2%	43.9%	15.9%	0.0%
	全体	38.0%	48.4%	12.5%	1.0%
b 交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する	女性	58.2%	33.6%	7.3%	0.9%
	男性	52.4%	36.6%	11.0%	0.0%
	全体	55.7%	34.9%	8.9%	0.5%
c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う	女性	60.9%	31.8%	5.5%	1.8%
	男性	46.3%	40.2%	13.4%	0.0%
	全体	54.7%	35.4%	8.9%	1.0%
d 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	女性	84.5%	11.8%	1.8%	1.8%
	男性	87.8%	8.5%	3.7%	0.0%
	全体	85.9%	10.4%	2.6%	1.0%
e 「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしょうなし」と言う	女性	77.3%	17.3%	3.6%	1.8%
	男性	69.5%	26.8%	3.7%	0.0%
	全体	74.0%	21.4%	3.6%	1.0%
f ながるふりをして、おどす	女性	91.8%	4.5%	1.8%	1.8%
	男性	90.2%	8.5%	0.0%	1.2%
	全体	91.1%	6.3%	1.0%	1.6%
g ながる蹴るの暴力をふるう	女性	97.3%	0.0%	1.8%	0.0%
	男性	98.8%	1.2%	0.0%	0.0%
	全体	97.9%	0.5%	1.0%	0.5%
h 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	女性	81.8%	14.5%	1.8%	1.8%
	男性	86.6%	8.5%	3.7%	1.2%
	全体	83.9%	12.0%	2.6%	1.6%
I 避妊に協力しない	女性	84.5%	11.8%	1.8%	1.8%
	男性	80.5%	18.3%	1.2%	0.0%
	全体	82.8%	14.6%	1.6%	1.0%
j おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する	女性	95.5%	1.8%	1.8%	0.9%
	男性	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%
	全体	95.8%	2.6%	1.0%	0.5%
k 大声でどなる	女性	79.1%	20.0%	0.0%	0.9%
	男性	58.5%	37.8%	3.7%	0.0%
	全体	70.3%	27.6%	1.6%	0.5%
l 生活費を渡さない	女性	76.4%	19.1%	2.7%	1.8%
	男性	72.0%	25.6%	2.4%	0.0%
	全体	74.5%	21.9%	2.6%	1.0%

どんな行為を暴力と感じているかは、「ながる、蹴るの暴力をふるう」（女性97.3%、男性98.8%）が最も高く、「おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する」（女性95.5%、男性96.3%）が、次いで高くなっています。

暴力の場合も、そうでない場合もあると思うは、「何を言っても無視する行為」（女性51.8%、男性43.9%）が最も高く、「自分が家にいるときは外出しないようにいう」（女性31.8%、男性40.2%）が、次いで高くなっています。

職員意識調査と比較してみても同様な傾向が見られます。

<図表 2-11> それぞれの行為がDVにあたると思うか？

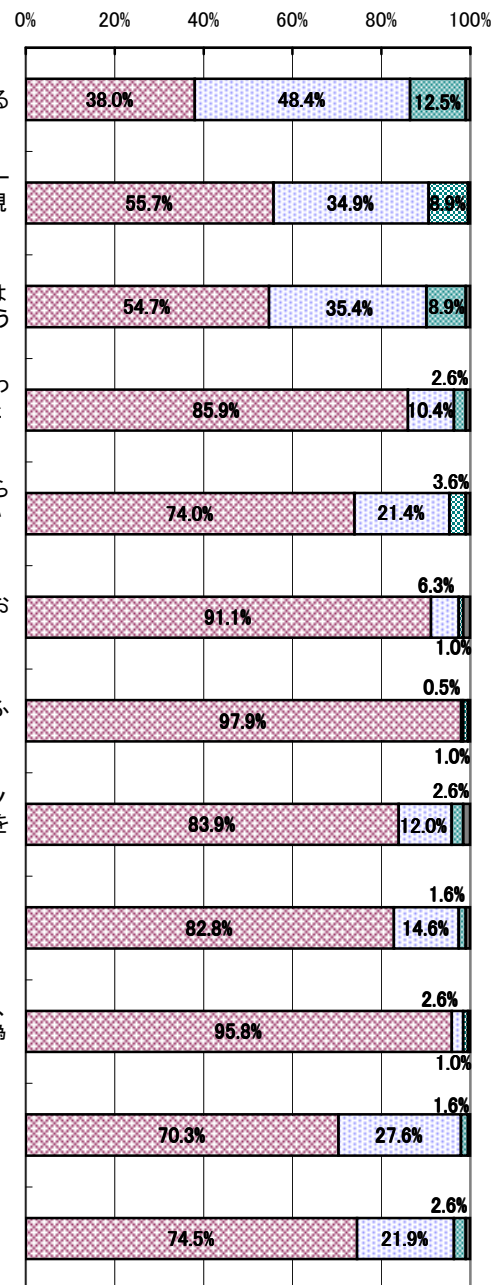
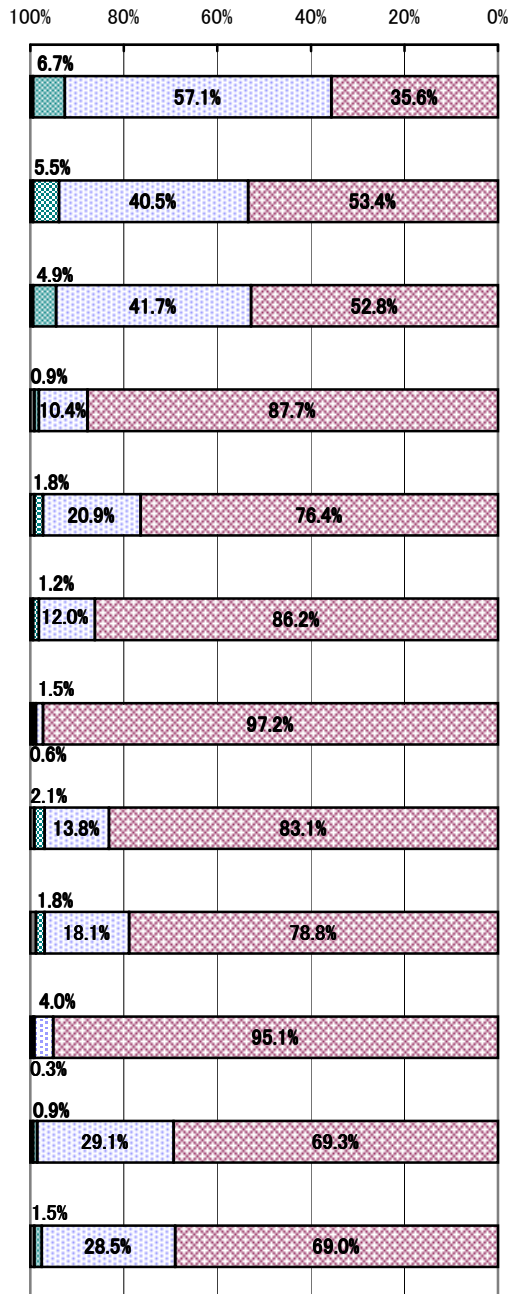


<参考> 職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表2-12>

平成21年職員意識調査(n=326)

平成21年教員意識調査(n=192)



どんな場合でも暴力にあたると思う

 暴力の場合も、そうでない場合もあると思う

 暴力にあるとは思わない

 無回答

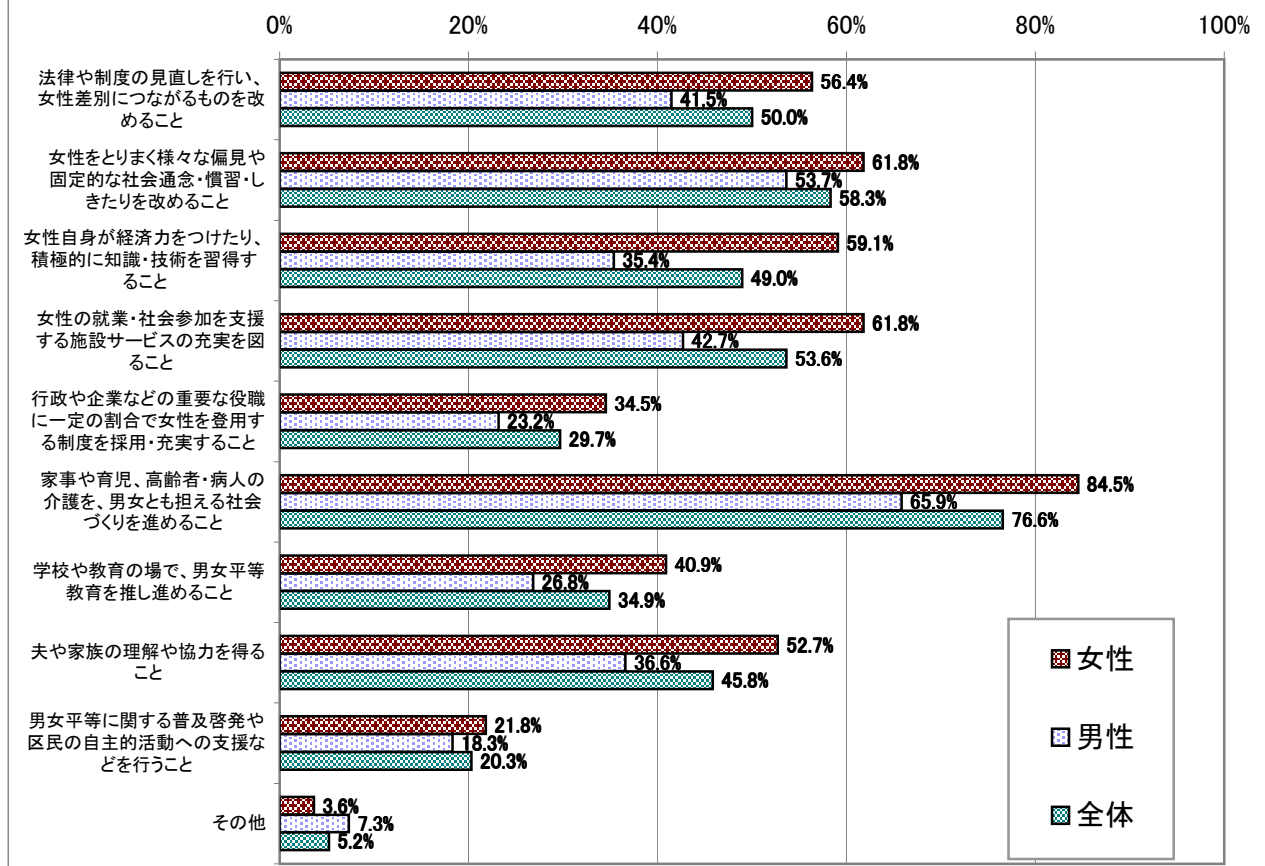
《 3 男女共同参画社会に関する施策について 》

問8 男女共同参画社会を実現するために、あなたが重要であると思うことは何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。（○は該当するものいくつかでも）

	女性	男性	全体
法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	62 56.4%	34 41.5%	96 50.0%
女性をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	68 61.8%	44 53.7%	112 58.3%
女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること	65 59.1%	29 35.4%	94 49.0%
女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること	68 61.8%	35 42.7%	103 53.6%
行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	38 34.5%	19 23.2%	57 29.7%
家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること	93 84.5%	54 65.9%	147 76.6%
学校や教育の場で、男女平等教育を押し進めること	45 40.9%	22 26.8%	67 34.9%
夫や家族の理解や協力を得ること	58 52.7%	30 36.6%	88 45.8%
男女平等に関する普及啓発や区民の自主的活動への支援などを行うこと	24 21.8%	15 18.3%	39 20.3%
その他	4 3.6%	6 7.3%	10 5.2%

女性 n = 110
男性 n = 82
全体 n = 192

＜図表3-1＞ 男女共同参画実現のために重要と思うこと

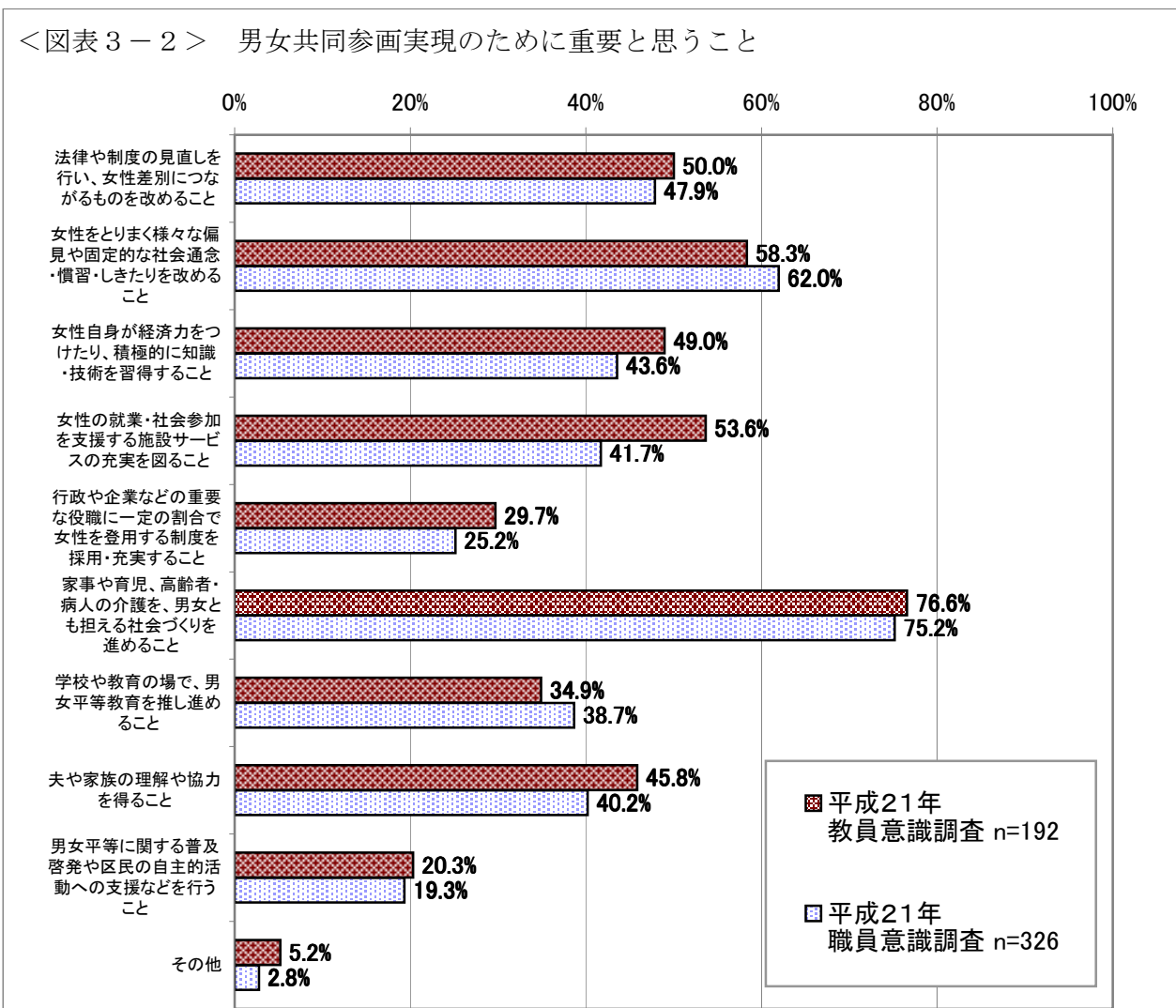


男女共同参画実現のために重要と思うことをいくつかも答えてもらったところ、最も多かったのは「家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること」（女性84.5%、男性65.9%）で、次に「女性をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」（女性61.8%、男性53.7%）、「女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること」（女性61.8%、男性42.7%）と続いています。

男女で違いが大きかったのは「女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること」（女性59.1%、男性35.4%、23.7ポイント差）「女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること」（女性61.8%、男性42.7%、19.1ポイント差）「家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること」（女性84.5%、男性65.9%、18.6ポイント差）となっています。

職員意識調査と比較すると、「女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること」（11.9ポイント）・「夫や家族の理解や協力を得ること」（5.6ポイント）・「女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること」（5.4ポイント）等は教員意識調査の方が上回っています。

<参考> 教員意識調査・職員意識調査との比較



問9 現在、男女共同参画社会の実現にむけて、法律や制度の整備が進んでいます。あなたは、国における次の法律・政策・用語を知っていますか。次のa～kごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

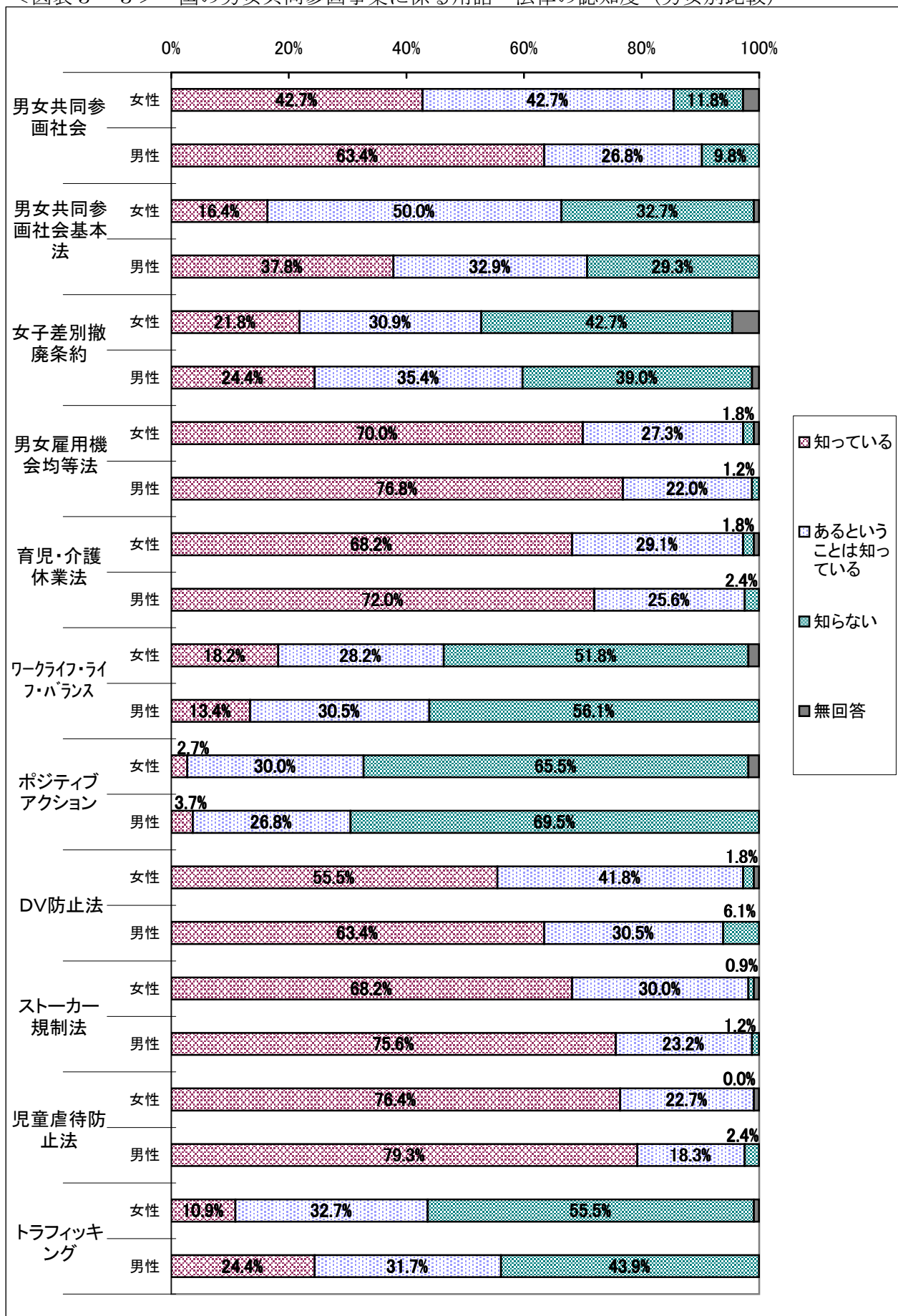
	女性n=110 男性n= 82 全体n=192	知っている	あるという ことは知っ ている	知らない	無回答
a 男女共同参画社会	女性	42.7%	42.7%	11.8%	2.7%
	男性	63.4%	26.8%	9.8%	0.0%
	全体	51.6%	35.9%	10.9%	1.6%
b 男女共同参画社会基本法	女性	16.4%	50.0%	32.7%	0.9%
	男性	37.8%	32.9%	29.3%	0.0%
	全体	25.5%	42.7%	31.3%	0.5%
c 女子差別撤廃条約	女性	21.8%	30.9%	42.7%	4.5%
	男性	24.4%	35.4%	39.0%	1.2%
	全体	22.9%	32.8%	41.1%	3.1%
d 男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）	女性	70.0%	27.3%	1.8%	0.9%
	男性	76.8%	22.0%	1.2%	0.0%
	全体	72.9%	25.0%	1.6%	0.5%
e 育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）	女性	68.2%	29.1%	1.8%	0.9%
	男性	72.0%	25.6%	2.4%	0.0%
	全体	69.8%	27.6%	2.1%	0.5%
f ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	女性	18.2%	28.2%	51.8%	1.8%
	男性	13.4%	30.5%	56.1%	0.0%
	全体	16.1%	29.2%	53.6%	1.0%
g ポジティブアクション（積極的改善措置）	女性	2.7%	30.0%	65.5%	1.8%
	男性	3.7%	26.8%	69.5%	0.0%
	全体	3.1%	28.6%	67.2%	1.0%
h DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）	女性	55.5%	41.8%	1.8%	0.9%
	男性	63.4%	30.5%	6.1%	0.0%
	全体	58.9%	37.0%	3.6%	0.5%
i ストーカー規制法（ストーカー行為等の規制等に関する法律）	女性	68.2%	30.0%	0.9%	0.9%
	男性	75.6%	23.2%	1.2%	0.0%
	全体	71.4%	27.1%	1.0%	0.5%
j 児童虐待防止法（児童虐待の防止に関する法律）	女性	76.4%	22.7%	0.0%	0.9%
	男性	79.3%	18.3%	2.4%	0.0%
	全体	77.6%	20.8%	1.0%	0.5%
k トラフィッキング（人身取引）	女性	10.9%	32.7%	55.5%	0.9%
	男性	24.4%	31.7%	43.9%	0.0%
	全体	16.7%	32.3%	50.5%	0.5%

国の男女共同参画施策に係る用語・法律の認知度については、「知っている」・「あるということを知っている」を合わせた『知っている』は、「ストーカー規制法」（98.5%）・「児童虐待防止法」（98.4%）の順で高く、「DV防止法」（95.9%）と続いています。

逆に、認知度が低いのは、「ポジティブアクション」が67.2%と最も低く、「ワーク・ライフ・バランス」（53.6%）、「トラフィッキング」（50.5%）、となっています。

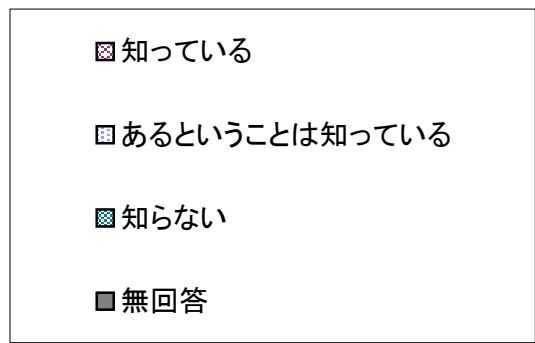
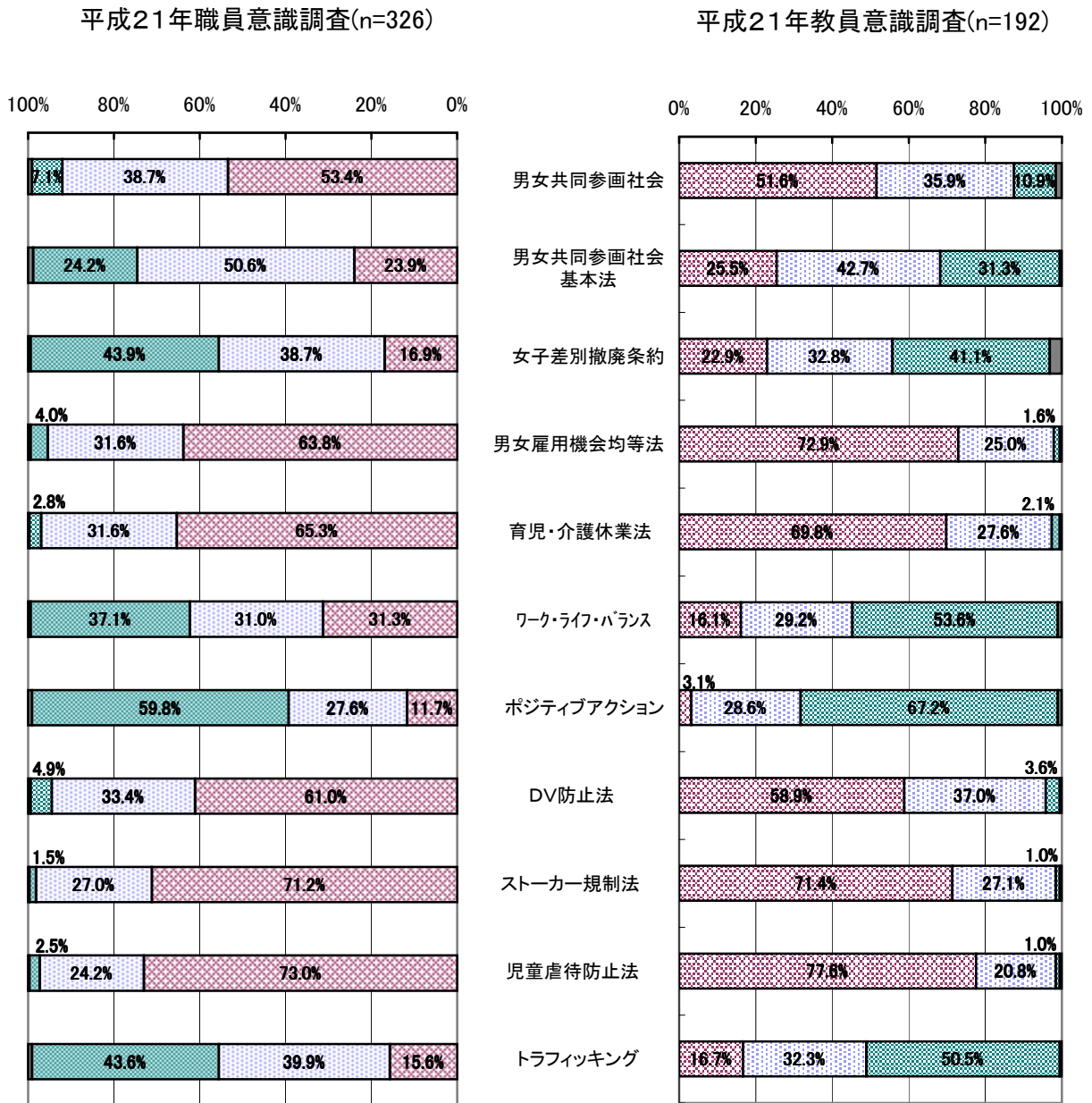
また、職員意識調査との比較においては、「男女雇用機会均等法」9.1ポイント、「女子差別撤廃条約」6.0ポイント上回っています。逆に「ワーク・ライフ・バランス」は、15.2ポイント認知度が低くなっています。

<図表 3-3> 国の男女共同参画事業に係る用語・法律の認知度（男女別比較）



<参考> 職員意識調査・教員意識調査との比較

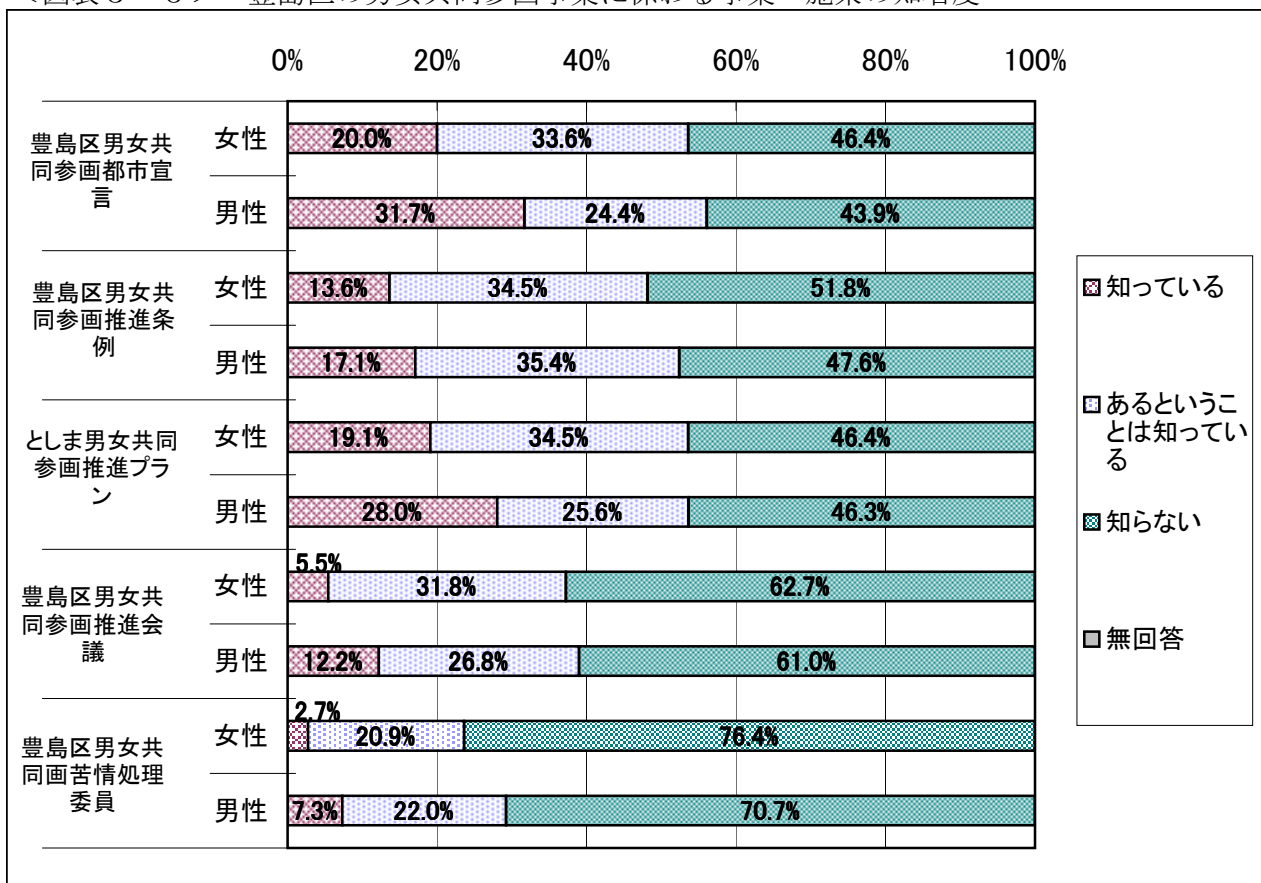
<図表3-4> 国の男女共同参画施策に係る用語・法律の認知度



問10 あなたは、豊島区における次の事業・施策を知っていますか。次のa～eごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。（〇はそれぞれ1つ）

	女性n=110 男性n= 82 全体n=192	知っている	あるとい うことは 知っている	知らない	無回答
a 豊島区男女共同参画都市宣言	女性	20.0%	33.6%	46.4%	0.0%
	男性	31.7%	24.4%	43.9%	0.0%
	全体	25.0%	29.7%	45.3%	0.0%
b 豊島区男女共同参画推進条例	女性	13.6%	34.5%	51.8%	0.0%
	男性	17.1%	35.4%	47.6%	0.0%
	全体	15.1%	34.9%	50.0%	0.0%
c としま男女共同参画推進プラン	女性	19.1%	34.5%	46.4%	0.0%
	男性	28.0%	25.6%	46.3%	0.0%
	全体	22.9%	30.7%	46.4%	0.0%
d 豊島区男女共同参画推進会議	女性	5.5%	31.8%	62.7%	0.0%
	男性	12.2%	26.8%	61.0%	0.0%
	全体	8.3%	29.7%	62.0%	0.0%
e 豊島区男女共同参画苦情処理委員	女性	2.7%	20.9%	76.4%	0.0%
	男性	7.3%	22.0%	70.7%	0.0%
	全体	4.7%	21.4%	74.0%	0.0%

<図表3-5> 豊島区の男女共同参画事業に係わる事業・施策の知名度

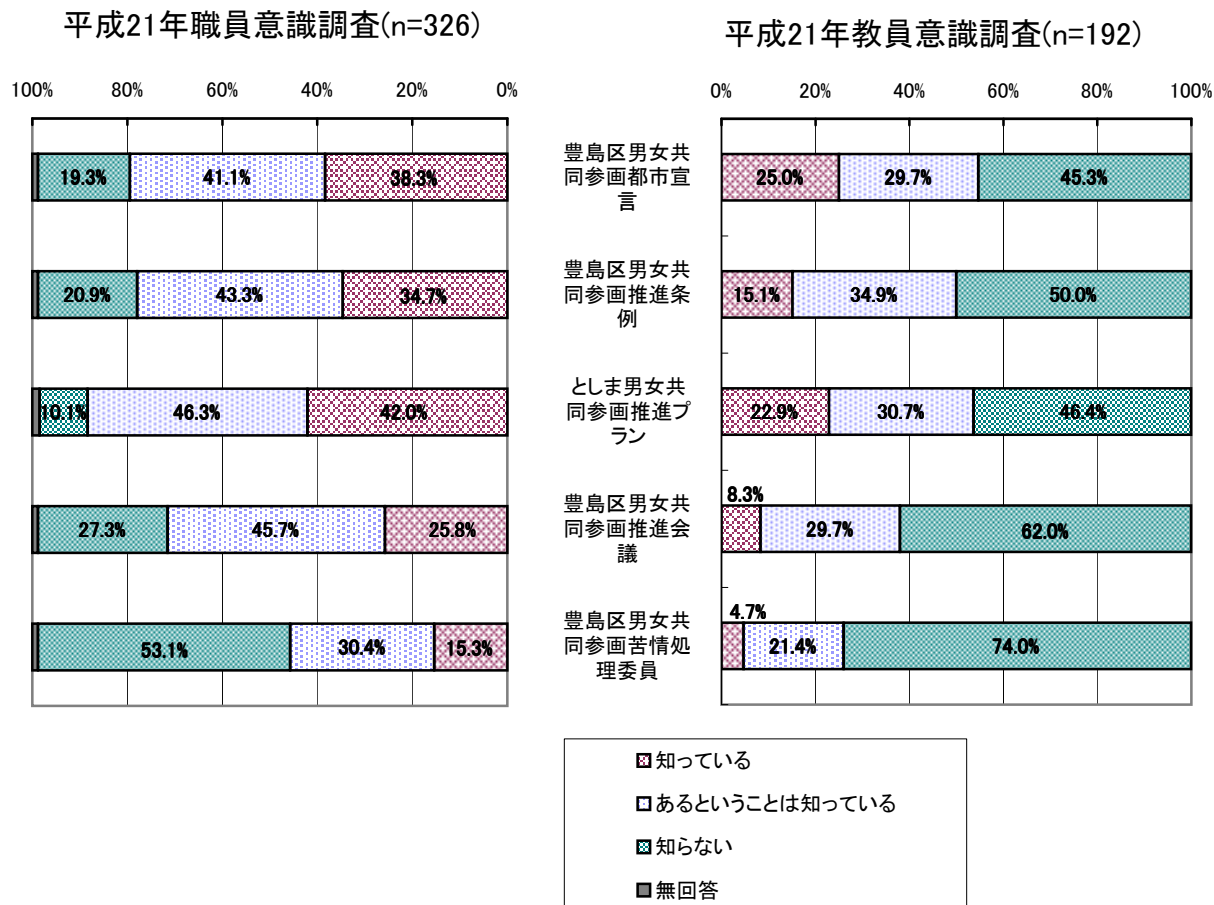


区の男女共同参画事業・施策の認知度については、「知っている」・「あるということは知っている」を合わせた『知っている』は、「としま男女共同参画推進プラン」が53.6%と最も高く、「豊島区男女共同参画苦情処理委員」が26.1%と最も低くなっています。

また、職員意識調査との比較においては、「知っている」・「あるということは知っている」を合わせた『知っている』は、「としま男女共同参画推進プラン」が34.7ポイント低く、「豊島区男女共同参画推進会議」も33.5ポイント低くなっています。

<参考>職員意識調査・教員意識調査との比較

<図表3-6> 豊島区の男女共同参画事業に係る事業・施策の知名度(全体比較)



問1 1 男女共同参画社会を実現するため区は様々な事業に取り組んでいます、次のa～iの事業に区が取り組んでいることを知っていましたか。また、よくやっていると思いますか。次のa～iの各事業ごとに、1～4の中から当てはまるものを1つ選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性n=110 男性n= 82 全体n=192	区が取り組んでいることは知っていたし、よくやっていると思う	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているとは思えない	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているかどうかはわからない	区が取り組んでいることは知らなかった	無回答
a 男女平等推進センターによる啓発事業などの男女平等の理念を深める学習機会の充実	女性	5.5%	4.5%	49.1%	40.0%	0.9%
	男性	12.2%	7.3%	40.2%	40.2%	0.0%
	全体	8.3%	5.7%	45.3%	40.1%	0.5%
b 男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援	女性	1.8%	9.1%	48.2%	40.9%	0.0%
	男性	4.9%	14.6%	46.3%	34.1%	0.0%
	全体	3.1%	11.5%	47.4%	38.0%	0.0%
c 女性の職業能力開発のための啓発事業・情報提供	女性	4.5%	6.4%	42.7%	46.4%	0.0%
	男性	6.1%	4.9%	41.5%	46.3%	1.2%
	全体	5.2%	5.7%	42.2%	46.4%	0.5%
d 仕事と育児の両立支援施策の推進	女性	4.5%	8.2%	47.3%	39.1%	0.9%
	男性	8.5%	8.5%	46.3%	36.6%	0.0%
	全体	6.3%	8.3%	46.9%	38.0%	0.5%
e 地域で男女共同参画を推進するための人材育成・団体支援	女性	3.6%	4.5%	44.5%	46.4%	0.9%
	男性	9.8%	6.1%	36.6%	46.3%	1.2%
	全体	6.3%	5.2%	41.1%	46.4%	1.0%
f 暴力（セクハラ・DV）の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など	女性	10.9%	4.5%	53.6%	30.0%	0.9%
	男性	17.1%	6.1%	48.8%	28.0%	0.0%
	全体	13.5%	5.2%	51.6%	29.2%	0.5%
g 区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用	女性	4.5%	3.6%	45.5%	45.5%	0.9%
	男性	7.3%	7.3%	41.5%	43.9%	0.0%
	全体	5.7%	5.2%	43.8%	44.8%	0.5%
h 性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援	女性	25.5%	9.1%	42.7%	21.8%	0.9%
	男性	9.8%	4.9%	51.2%	34.1%	0.0%
	全体	18.8%	7.3%	46.4%	27.1%	0.5%
i 人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進	女性	12.7%	7.3%	43.6%	35.5%	0.9%
	男性	17.1%	9.8%	41.5%	31.7%	0.0%
	全体	14.6%	8.3%	42.7%	33.9%	0.5%

男女共同参画社会を実現するための区の実施の知名度については、『よくやっていると思う』は、「性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援」（18.8%）、「人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進」（14.6%）、「暴力（セクハラ・DV）の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など」（13.5%）となっています。

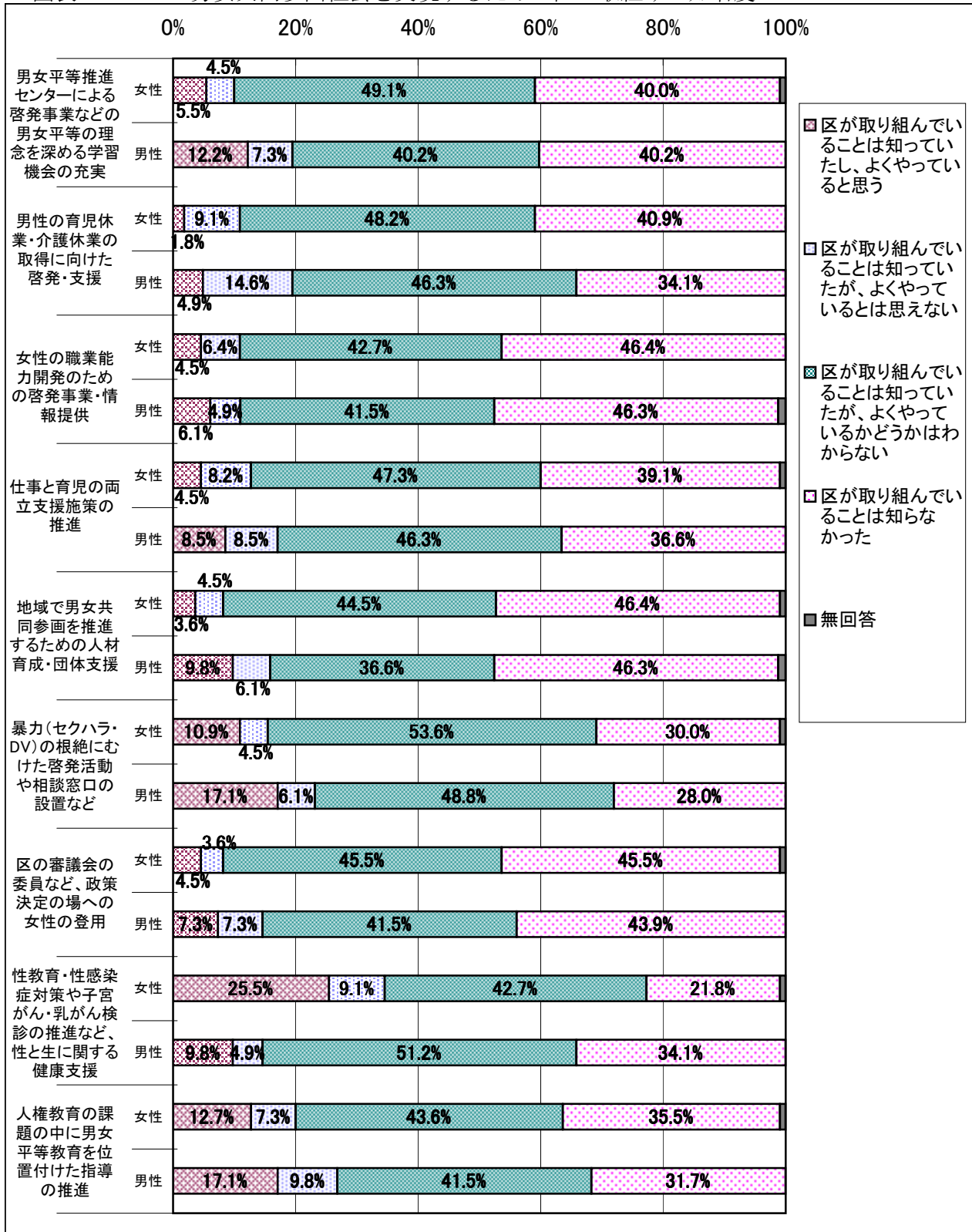
『よくやっているとは思えない』は、「男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援」（11.5%）、「人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進」（8.3%）、「仕事と育児の両立支援施策の推進」（8.3%）となっています。

『よくやっているかどうかはわからない』は、「暴力（セクハラ・DV）の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など」（51.6%）、「男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援」（47.4%）、「仕事と育児の両立支援施策の推進」（46.9%）となつて

います。

『知らなかった』は、「地域で男女共同参画を推進するための人材育成・団体支援」（46.4%）、「女性の職業能力開発のための啓発事業・情報提供」（46.4%）、「区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用」（44.8%）となっています。

<図表3-7> 男女共同参画社会を実現するための区の取組みの知名度



問12 学校における男女平等教育の推進について、指導上大切だと思うことは何ですか。次のa～gごとに、1～5の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性n=110 男性n= 82 全体n=192	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
a 男女の互いの違いを認め、互いを尊重することの大切さを学ぶこと。	女性	87.3%	9.1%	2.7%	0.9%	0.0%	0.0%
	男性	92.7%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全体	89.6%	8.3%	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%
b 男女分け隔てなく、豊かな人間関係を築く力を育てること。	女性	84.5%	15.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	84.1%	12.2%	2.4%	0.0%	0.0%	1.2%
	全体	84.4%	14.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.5%
c 社会科や技術・家庭科等で、男女ともに暮らしに必要な知識や技能を学ぶこと。	女性	81.8%	17.3%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	63.4%	28.0%	7.3%	0.0%	0.0%	1.2%
	全体	74.0%	21.9%	3.6%	0.0%	0.0%	0.5%
d 教育活動の内容（※）により、男女の違いに応じた配慮をしていること。	女性	65.5%	32.7%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	70.7%	24.4%	3.7%	0.0%	0.0%	1.2%
	全体	67.7%	29.2%	2.6%	0.0%	0.0%	0.5%
e 性別による固定的な役割分担意識をなくし、一人一人の個性、能力・適性を生かした進路が選択できるようにしていること。	女性	76.4%	21.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	69.5%	20.7%	7.3%	0.0%	1.2%	1.2%
	全体	73.4%	21.4%	4.2%	0.0%	0.5%	0.5%
f 女性に対する偏見や暴力をはじめ、あらゆる差別をなくす人権意識を育てること。	女性	79.1%	18.2%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	79.3%	11.0%	8.5%	0.0%	0.0%	1.2%
	全体	79.2%	15.1%	5.2%	0.0%	0.0%	0.5%
g 教員が男女の性別にとらわれない指導を行っていること。	女性	56.4%	30.0%	11.8%	1.8%	0.0%	0.0%
	男性	67.1%	12.2%	14.6%	1.2%	3.7%	1.2%
	全体	60.9%	22.4%	13.0%	1.6%	1.6%	0.5%

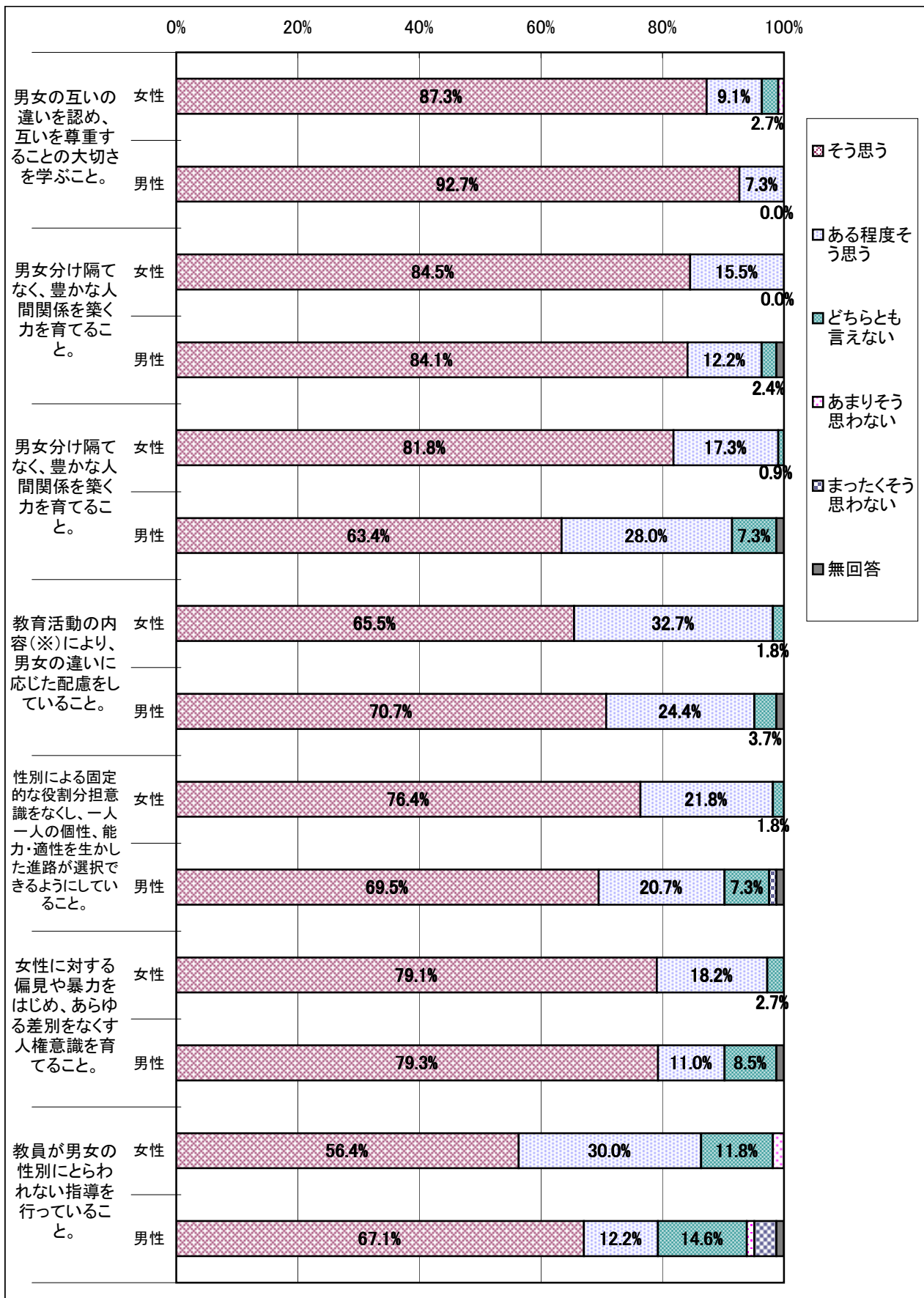
※「内科検診などの場所や時間帯を男女別にする」「運動会の組体操や騎馬戦で身体接触のある場合には十分配慮する」等

指導上大切だと思うことについては、「そう思う」・「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』は、「男女分け隔てなく、豊かな人間関係を築く力を育てること」が98.5%と最も高く、「男女の互いの違いを認め、互いを尊重することの大切さを学ぶこと」（97.9%）、「教育活動の内容（※）により、男女の違いに応じた配慮をしていること」（96.9%）と続いています。

一方、「どちらとも言えない」は、「教員が男女の性別にとらわれない指導を行っていること」が13.0%と最も高くなっています。

また、「あまりそう思わない」・「まったくそう思わない」を合わせた『そう思わない』は、「教員が男女の性別にとらわれない指導を行っていること」が3.2%と最も高くなっています。

<図表3-8>学校における男女平等教育の推進について、指導上大切だと思うこと



Ⅲ 調査票及び単純集計結果

豊島区立学校教員の男女平等意識に関する調査

— ご協力をお願い —

区では、男女一人ひとりの人権が尊重され、その個性と能力を存分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けて様々な取組みを行っています。

この意識調査は、男女平等・男女共同参画社会に関する教員の皆様の意識及び職場の状況を把握し、今後の施策推進の基礎資料とするために実施するものです。

回答は無記名で、結果はすべて統計的に処理しますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、この調査は、「としま男女共同参画推進プラン」に基き、教育委員会事務局教育総務部教育指導課と総務部男女平等推進センターが実施します。

平成21年10月

教育委員会事務局教育総務部教育指導課
総務部男女平等推進センター

<記入上の注意>

1. ご本人がお答えください。氏名は記入しないでください。
2. ボールペン、または、濃い鉛筆で記入ください。
3. お答えは、設問ごとに「○は1つ」、「○はいくつでも」、「○はそれぞれ1つ」など指定されていますので、当てはまる番号を○で囲んでください。
4. 「その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記入ください。
5. ご記入いただいた調査票は 10月14日(水)までに返信用封筒に入れて学校長へ提出してください。
6. この調査票についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

教育委員会事務局教育総務部教育指導課
男女平等推進センター

内線 (3496)
直通 (5952) 9501

■一般的な男女平等についてお伺いします

問1 あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。(○は1つ)

n=192

1 男女平等になっている	3.6%
2 どちらかといえば、男女平等になっている	51.0%
3 どちらかといえば、男女平等になっていない	23.4%
4 男女平等になっていない	16.1%
5 わからない	2.6%
無回答	3.1%

問2 では、次のa～の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。

各分野ごとに、1～6の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=192

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
a 家庭の中で	9.4%	43.8%	34.9%	5.2%	0.5%	5.7%	0.5%
b 職場の中で(学校教育の場で)	3.1%	19.3%	58.9%	13.0%	1.0%	3.1%	1.6%
c 政治の場で	22.4%	52.6%	13.5%	2.6%	0.0%	6.3%	2.6%
d 制度や法律の上で	6.3%	35.9%	41.1%	6.8%	0.5%	8.3%	1.0%
e 社会通念・習慣・しきたりで	18.2%	59.9%	13.0%	4.2%	0.0%	3.6%	1.0%
f 地域活動の場で	7.3%	42.2%	32.3%	5.7%	0.0%	11.5%	1.0%

■仕事や家庭をめぐる考え方についてお伺いします

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(○は1つ) n=192

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1 そのとおりだと思う | 0.5% |
| 2 どちらかといえばそう思う | 8.3% |
| 3 どちらともいえない | 40.6% |
| 4 どちらかといえばそう思う
いけばそう思わない | 16.7% |
| 5 まったくそうは思わない | 32.8% |
| 無回答 | 1.0% |

問4 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。
それぞれ当てはまるものを、1~4の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ) n=192

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
a 「子育ては母親の仕事」という考え方	3.6%	32.8%	20.3%	42.7%	0.5%
b 「家事は女性の仕事」という考え方	1.0%	23.4%	24.5%	50.5%	0.5%

問5 女性の一生と職業の関わり方で、あなたが最も望ましいと思われる形態はどれにあたりますか。
(○は1つ) n=192

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1 結婚するまで職業を持つ(結婚退職型) | 0.5% |
| 2 子どもができるまで職業を持つ(出産退職型) | 4.7% |
| 3 子育ての期間を除き職業を持つ(再就職型) | 37.0% |
| 4 子育ての期間を含めて一生職業を持つ(職業継続型) | 42.7% |
| 5 一生職業を持たない(家事専念型) | 0.5% |
| 6 その他(具体的に:) | 13.0% |
| 無回答 | 1.6% |

問6 あなたは「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について、どのような状況が理想だと考えますか。また、実際の状況はどのようですか。次の中から選んでください。

n=192

a 理想 (○は1つ)

1 「仕事」を優先	1.0%	5 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	2.6%
2 「家庭」を優先	13.5%	6 「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	3.6%
3 「地域・個人の生活」を優先	1.6%	7 「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	51.0%
4 「仕事」と「家庭」を両立	25.5%	8 その他(具体的に:)	0.5%
		無回答	0.5%

b 現実(○は1つ)

1 「仕事」を優先	66.7%	5 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	2.1%
2 「家庭」を優先	3.6%	6 「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	0.0%
3 「地域・個人の生活」を優先	0.0%	7 「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	5.2%
4 「仕事」と「家庭」を両立	18.2%	8 その他(具体的に:)	2.6%
		無回答	1.6%

問7 社会的に配偶者(事実婚や離婚後も含む)への暴力(DV)が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。次のa~ごとに、1~3の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=192

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
a 何を言っても無視する	38.0%	48.4%	12.5%	1.0%
b 交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する	55.7%	34.9%	8.9%	0.5%
c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う	54.7%	35.4%	8.9%	1.0%
d 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	85.9%	10.4%	2.6%	1.0%
e 「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしようなし」と言う	74.0%	21.4%	3.6%	1.0%
f なぐるふりをして、おどす	91.1%	6.3%	1.0%	1.6%
g 殴る、蹴るの暴力を振るう	97.9%	0.5%	1.0%	0.5%
h 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	83.9%	12.0%	2.6%	1.6%
i 避妊に協力しない	82.8%	14.6%	1.6%	1.0%
j おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する	95.8%	2.6%	1.0%	0.5%
k 大声でどなる	70.3%	27.6%	1.6%	0.5%
l 生活費を渡さない	74.5%	21.9%	2.6%	1.0%

■男女共同参画社会に関する施策についてお伺いします

問8 男女共同参画社会を実現するために、あなたが重要であると思うことは何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○は該当するものいくつかでも)

n=192

- | | |
|---|-------|
| 1 法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること | 50.0% |
| 2 女性をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること | 58.3% |
| 3 女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること | 49.0% |
| 4 女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること | 53.6% |
| 5 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること | 29.7% |
| 6 家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること | 76.6% |
| 7 学校や教育の場で、男女平等教育を推し進めること | 34.9% |
| 8 夫や家族の理解や協力を得ること | 45.8% |
| 9 男女平等に関する普及啓発や区民の自主的活動への支援などを行うこと | 20.3% |
| 10 その他(具体的に:) | 5.2% |

問9 現在、男女共同参画社会の実現にむけて、法律や制度の整備が進んでいます。

あなたは、国における次の法律・政策・用語を知っていますか。次のa～kごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=192

	知っている	あるという ことは知っ ている	知らない	無回答
a 男女共同参画社会	51.6%	35.9%	10.9%	1.6%
b 男女共同参画社会基本法	25.5%	42.7%	31.3%	0.5%
c 女子差別撤廃条約	22.9%	32.8%	41.1%	3.1%
d 男女雇用機会均等法(雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律)	72.9%	25.0%	1.6%	0.5%
e 育児・介護休業法(育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律)	69.8%	27.6%	2.1%	0.5%
f ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	16.1%	29.2%	53.6%	1.0%
g ポジティブアクション(積極的改善措置)	3.1%	28.6%	67.2%	1.0%
h DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法)	58.9%	37.0%	3.6%	0.5%
i ストーカー規制法(ストーカー行為等の規制等に関する法律)	71.4%	27.1%	1.0%	0.5%
j 児童虐待防止法(児童虐待の防止等に関する法律)	77.6%	20.8%	1.0%	0.5%
k トラフィッキング(人身取引)	16.7%	32.3%	50.5%	0.5%

問10 あなたは、豊島区における次の事業・施策を知っていますか。次のa～eごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=192

	知っている	あるということを知っている	知らない	無回答
a 豊島区男女共同参画都市宣言	25.0%	29.7%	45.3%	0.0%
b 豊島区男女共同参画推進条例	15.1%	34.9%	50.0%	0.0%
c としま男女共同参画推進プラン	22.9%	30.7%	46.4%	0.0%
d 豊島区男女共同参画推進会議	8.3%	29.7%	62.0%	0.0%
e 豊島区男女共同参画苦情処理委員	4.7%	21.4%	74.0%	0.0%

問11 男女共同参画社会を実現するため区は様々な事業に取り組んでいますが、次のa～iの事業に区が取り組んでいることを知っていましたか。また、よくやっていると思いますか。
次のa～iの各事業ごとに、1～4の中から当てはまるものを1つ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=192

	区が取り組んでいることは知っていたし、よくやっていると思う	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているとは思えない	区が取り組んでいることは知っていたが、よくやっているかどうかはわからない	区が取り組んでいることは知らなかった	無回答
a 男女平等推進センターによる啓発事業などの男女平等の理念を深める学習機会の充実	8.3%	5.7%	45.3%	40.1%	0.5%
b 男性の育児休業・介護休業の取得に向けた啓発・支援	3.1%	11.5%	47.4%	38.0%	0.0%
c 女性の職業能力開発のための啓発事業・情報提供	5.2%	5.7%	42.2%	46.4%	0.5%
d 仕事と育児の両立支援施策の推進	6.3%	8.3%	46.9%	38.0%	0.5%
e 地域で男女共同参画を推進するための人材育成・団体支援	6.3%	5.2%	41.1%	46.4%	1.0%
f 暴力(セクハラ・DV)の根絶にむけた啓発活動や相談窓口の設置など	13.5%	5.2%	51.6%	29.2%	0.5%
g 区の審議会の委員など、政策決定の場への女性の登用	5.7%	5.2%	43.8%	44.8%	0.5%
h 性教育・性感染症対策や子宮がん・乳がん検診の推進など、性と生に関する健康支援	18.8%	7.3%	46.4%	27.1%	0.5%
i 人権教育の課題の中に男女平等教育を位置付けた指導の推進	14.6%	8.3%	42.7%	33.9%	0.5%

問12 学校における男女平等教育の推進について、指導上大切だと思うことは何ですか。

次のa～gごとに、1～5の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=192

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	まったくそ う思わない	無回答
a 男女の互いの違いを認め、互いを尊重することの大切さを学ぶこと。	89.6%	8.3%	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%
b 男女分け隔てなく、豊かな人間関係を築く力を育てること。	84.4%	14.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.5%
c 社会科や技術・家庭科等で、男女ともに暮らしに必要な知識や技能を学ぶこと。	74.0%	21.9%	3.6%	0.0%	0.0%	0.5%
d 教育活動の内容(※)により、男女の違いに応じた配慮をしていること。	67.7%	29.2%	2.6%	0.0%	0.0%	0.5%
e 性別による固定的な役割分担意識をなくし、一人一人の個性、能力・適性を生かした進路が選択できるようにしていること。	73.4%	21.4%	4.2%	0.0%	0.5%	0.5%
f 女性に対する偏見や暴力をはじめ、あらゆる差別をなくす人権意識を育てること。	79.2%	15.1%	5.2%	0.0%	0.0%	0.5%
g 教員が男女の性別にとらわれない指導を行っていること。	60.9%	22.4%	13.0%	1.6%	1.6%	0.5%

※教育活動の内容

「内科検診などの場所や時間帯を男女別にする」

「運動会の組体操や騎馬戦で身体接触のある場合には十分配慮する」等

■最後にあなたご自身のことについてお伺いします

F1	あなたの性別を教えてください。			n=192
	1 女性			57.3%
	2 男性			42.7%
F2	あなたの年齢を教えてください。			n=192
	1 ~29歳	18.2%	3 40~49歳	29.7%
	2 30~39歳	15.6%	4 50歳以上	36.5%
F3	あなたの職層を教えてください。			n=192
	1 管理職			11.5%
	2 主幹教諭			10.4%
	3 主任教諭・主任養護教諭			24.0%
	4 教諭・養護教諭			54.2%
F4	あなたの所属学校を教えてください。			n=192
	1 小学校			73.4%
	2 中学校			26.6%

ご協力ありがとうございました。

豊島区立学校教員の男女平等意識に関する調査 報告書

平成 22 年 3 月

発 行 豊島区教育委員会事務局・教育総務部教育指導課
豊島区立男女平等センター（エポック 10）
豊島区西池袋 2-37-4
電話 03（5952）9501